

●病院の概要



本院は、国の一県一医科大学構想に基づき昭和48年に医学部が設置され、山形県の医療の中核病院として昭和51年に開院しました。

(1)診療科間の垣根を取り払った適切な医療の提供、(2)情報開示に努め社会に開かれた病院、(3)個々の患者さんに適した先進医療の開発・導入、(4)厳しい倫理観を持った創造的な医療人の育成を理念として、地域医療の向上を目指しています。

病床数は637床で、第3次救急医療機関として指定を受け、東北地区の国立大学法人附属病院の中ではトップクラスの1日に6～7台の救急車を受け入れるなど、地域住民への医療サービスの提供を図っています。

高度先進医療としての承認は、現在20件あり、世界最先端の医療の開拓にも力を入れています。また、高度先進医療に加えて覚醒状態での脳腫瘍手術、切断された7本の指の縫合手術など、全国レベルでもトップクラスの実績を持つ診療科も多数設置しています。

平成14年度には、日本医療機能評価機構のVer.4を全国の大学病院で2番目に取得、令和元年度に同機構の一般病院3の認定を受けており、本院は第3者機関から、高度の医療の提供、高度の医療技術の開発・評価、高度の医療に関する研修を実施する病院または準ずる病院として認められました。

現在では、山形県内の公的病院において山形大学卒業の医師が占めるようになってきており、県内の多くの病院で活躍できる状況ができています。

平成17年度から、①患者中心の医療を提供 ②高度先進医療の提供 ③教育研修機能の充実による医療水準の向上 ④医療・療養・労働環境の改善 ⑤病院経営の健全化を整備計画の目標とし、6床室から4床室へ、HCU・臓器別疾患センターの設置等、病院の再整備に向けた工事が始まり、平成22年度に病棟が開院しました。

また、平成20年度には、国の「グローバルCOEプログラム」に申請した「分子疫学の国際教育研究ネットワークの構築」が採択されました。医学系でこの事業に申請があったのは、全国62大学72件で、採択されたのは13大学、14件でした。この採択は、日本有数の医学研究拠点が山形の地に形成されることを意味し、山形大学が実力ある大学として全国に認められたという確固たる証です。

さらに、本院では全ての医療について遺伝子を基にした患者さん一人ひとりに合わせたオーダーメイド医療(ゲノム医療)の実現を目指しており、令和元年9月19日付けで厚生労働省から「がんゲノム医療拠点病院」の指定を受けました。地域の拠点病院として、県内の医療機関と連携し、県内一円のゲノム医療に寄与出来るよう体制を整備し、より確度の高い医療を実践する先端的な病院となることを目指します。

加えて、平成17年から重粒子線治療装置の導入計画の策定を始めてきました。令和2年12月に「東日本重粒子センター」を開所し、令和3年2月より同センターでの重粒子線治療を開始しております。同施設は、重粒子線がん治療の未来を見据えたい「次世代の重粒子線がん治療システム：山形モデル」の研究開発に取り組んできたものです。

国の指針である「最先端医療技術の海外展開」にも直接リンクする事業として注目されており、国内のみならず海外医療施設とも積極的にコンタクトしながら、大学である特色を活かし、重粒子線がん治療の技術向上と、医療・技術両面の人材育成や共同研究などを行ってまいります。

●募集について

臨床研修

- 令和6年度研修医募集定員：50名
- 令和5年度研修医受入数：1年目：16名 ・2年目：24名
- 処遇：
 - ・基本給：約320,000円（臨床研修手当含む）(初年度)
 - ・退職手当有
 - ・年間概算支給見込額：3,960,000円（初年度）
 - ・宿舍貸与有 ・各種保険有
 - ・講習会等参加費、学会及び研究会に係る旅費等の支給制度あり

●診療科ごとの入院患者・外来患者の数（令和4年度実績）

診療科名	新入院患者数	平均在院日数	新患外来患者数	1日平均外来患者数	年間外来診療日数	常勤医師数	指導医数
第一内科	2,308	12.3	2,490	158.2	243	40	15
第二内科	1,110	11.1	1,368	90.9	243	25	10
第三内科	664	23.3	977	116.5	243	25	11
小児科	758	12.7	1,039	50.1	243	22	13
精神科	144	49.0	753	84.8	243	17	5
皮膚科	285	13.6	1,339	76.4	243	19	4
放射線治療科	135	10.4	375	69.5	243	9	3
第二外科	890	13.7	493	45.2	243	19	8
第一外科	623	12.8	498	30.5	243	15	7
脳神経外科	410	29.1	755	32	243	14	5
整形外科	820	16.8	1,596	91.9	243	22	10
産科婦人科	1,373	8.4	1,235	109	243	21	7
眼耳鼻咽喉科	1,023	5.8	1,946	94.6	243	13	5
泌尿器科	653	13.1	1,324	76	243	21	8
泌尿器科	824	9.6	1,016	52.7	243	14	9
麻酔科	0	-	130	12.3	243	20	7
形成外科	215	8.3	470	15.5	243	8	3
腫瘍内科	385	11.7	172	21.1	243	6	1
高次脳機能科	0	-	106	4.2	243	-	-
放射線診断科	0	-	674	3	243	15	7
病理診断科	0	-	0	0	243	9	3
歯科口腔外科	297	6.7	2,601	51.1	243	13	3
救急科	0	-	246	1.6	365	5	2

※医師数は令和5年4月1日現在

●救急患者受入人数（令和4年度実績） 8,084人

●学会認定施設の状況（主なもの）

- ・日本内科学会認定医制度教育病院
- ・日本小児科学会小児科専門医制度研修施設
- ・日本皮膚科学会認定専門医研修施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・日本泌尿器科学会専門医研修施設
- ・日本脳神経外科学会専門医認定制度認定幹施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本麻酔科学会認定麻酔科認定病院
- ・日本病理学会研修認定施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本リハビリテーション医学会研修施設
- ・日本口腔外科学会専門医制度指定研修施設
- ・日本消化器科学会専門医制度認定施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本血液学会認定血液研修施設
- ・日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本神経学会専門医制度教育施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・呼吸器外科専門医研修施設
- ・（日本呼吸器外科学会・日本胸部外科学会）
- ・3学会構成心臓血管外科専門医認定機構幹施設
- ・（日本胸部外科学会・日本心臓血管外科学会・日本血管外科学会）
- ・日本小児外科学会専門医制度教育関連施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本消化器内視鏡学会専門医制度認定指導施設
- ・日本気管食道科学会認定専門医制度研修施設
- ・日本人類遺伝学会臨床遺伝専門医制度研修施設
- ・日本核医学会専門医教育病院
- ・日本透析医学会専門医制度認定施設
- ・日本ペインクリニック学会専門医指定研修施設
- ・日本乳癌学会認定医・専門医制度研修施設
- ・日本婦人科腫瘍学会専門医制度指定修練施設
- ・日本生殖医学会生殖医療専門医制度認定研修施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度指定施設（新生児）
- ・日本臨床細胞学会教育研修施設
- ・日本小児神経学会小児神経科専門医制度研修施設
- ・日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
- ・日本超音波医学会認定超音波専門医研修施設
- ・日本感染症学会研修施設
- ・日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- ・日本集中治療医学会専門医研修施設
- ・日本臨床薬理学会専門医制度研修施設
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本IVR学会専門医修練施設
- ・日本肝胆膵外科学会高度技能専門医修練施設A
- ・日本高血圧学会専門医認定施設
- ・日本手外科学会認定研修施設
- ・日本頭頸部外科学会認定頭頸部がん専門医指定研修施設
- ・日本形成外科学会専門医制度研修幹施設
- ・日本小児血液・がん学会認定小児血液・がん専門医研修施設
- ・日本肝臓学会認定施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本産科婦人科学会専門研修幹施設
- ・日本放射線腫瘍学会認定施設
- ・浅大腿動脈ステントグラフト実施施設

病院長：土谷 順彦
 病床数：637【一般：601／精神：36】
 医師数：372
 診療科目：内、精、循、小、外、整、脳、心、皮、泌、産、婦、眼、耳、放、歯口、麻、形、リ、病、救

●プログラムについて

臨床研修

- ・基本的な診療能力の獲得；First AidとPrimary Care
- ・たすき掛け研修（必修科、希望科とも大学病院と協力型研修病院の両方で研修可能）
- ・充実した指導・教育体制
- ・研修に最適な環境・設備（最先端の医療機器、レジデントハウス、24時間保育所等）

●研修スケジュール例

山形大学医学部附属病院卒後臨床研修プログラムA

1年目・順不同				2年目・順不同								
内科	内科	救急	希望科	地域医療	外科	小児科	産婦人科	精神科	希望科	希望科	希望科	希望科
(大学・協力病院)				(大学・協力病院)								
3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月

特色：必修分野以外についてはすべて自由選択科目とすることにより、早い時期から将来専門とする診療科を中心に関連の診療科での研修を行うことができるプログラムである。

山形大学医学部附属病院卒後臨床研修 外科重点コース

1年目・順不同				2年目・順不同							
外科	内科	内科	救急	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	外科		希望科	
(大学・協力病院)				(大学・協力病院)							
3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	6ヶ月		2ヶ月	

特色：将来外科を専門とする人のためのコースで、1年目については、原則最初の3ヶ月間で外科を研修した後、必修分野を研修する。2年目については、研修終了後を見据えて、その研修期間の殆どを外科の研修に充てることできるプログラムである。
 ※重点コースについては、外科のほかに、救急・麻酔重点コース、小児科重点コース、産科婦人科重点コース、地域医療重点コースがあります。

●医師紹介・メッセージ

●常勤勤務医師紹介（指導医・上級医）

診療科等	役職	氏名	専門分野	指導医講習会等の受講経歴	学会認定等
第一内科	教授	今田 恒夫	腎臓・膠原病内科	○	日本内科学会(総合内科専門医・指導医)、日本腎臓学会(専門医・指導医)、日本透析医学会(専門医・指導医)、日本リウマチ学会(専門医)、日本高血圧学会(専門医・指導医)
第一内科	教授	渡辺 昌文	循環器内科	○	日本内科学会(専門医・指導医)、日本循環器学会(専門医)
第一内科	講師	井上 純人	呼吸器内科	○	日本内科学会(総合内科専門医・指導医)、日本呼吸器学会(専門医・指導医)、日本呼吸器学会(専門医・指導医)、インフェクシオン・コントロール・ドクター(ICD)、日本がん治療認定医、日本呼吸器内視鏡学会(気管支鏡専門医・指導医)
第二内科	教授	上野 義之	肝臓病学・消化器病学	○	日本内科学会(総合内科専門医・指導医)、日本消化器病学会専門医(指導医)、日本肝臓学会専門医(指導医)、日本消化器内視鏡学会(専門医)、日本肝臓学会専門医(専門医)
第二内科	准教授	芳賀 弘明	消化器内科	○	日本消化器病学会(専門医)、日本消化器内視鏡学会(専門医)、日本肝臓学会専門医(専門医)
第三内科	教授	太田 康之	脳神経内科	○	日本内科学会(総合内科専門医)、日本神経学会(神経内科専門医)
第三内科	助教	羽田 幸里香	糖尿病・内分泌代謝	○	
小児科	教授	三井 哲夫	小児血液病学・悪性腫瘍	○	日本小児科学会(専門医・指導医)、日本血液学会血液専門医・指導医、日本がん治療認定医機構(がん治療認定医・暫定教育医)、ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター、日本造血細胞移植認定医、日本小児血液がん学会(専門医・指導医)
小児科	講師	荻野 大助	小児腎臓病学	○	日本小児科学会(専門医)、日本腎臓学会(専門医)
精神科	教授	鈴木 昭仁	精神医学	○	日本精神神経学会(指導医)、日本脳神経精神医療学会(専門医・指導医)、精神保健指導医
精神科	講師	小林 良太	精神医学	○	日本精神神経学会(専門医・指導医)、日本老年精神医学会(専門医・指導医)、精神保健指定医、日本認知症学会(専門医・指導医)
皮膚科	教授	鈴木 民夫	皮膚科学	○	日本皮膚科学会(専門医)、日本人類遺伝学会(臨床遺伝専門医)、日本がん治療認定医機構(暫定教育医)
皮膚科	准教授	紺野 隆之	皮膚科学	○	日本皮膚科学会(専門医)
放射線診断科	教授	鹿戸 将史	画像診断学	○	日本放射線学会(放射線診断専門医)、日本核医学会(核医学専門医)、PET臨床認定医、日本IVR学会(専門医)
放射線診断科	助教	紺野 義浩	画像診断学	○	日本医学放射線学会(放射線科専門医)
放射線治療科	准教授	佐藤 啓	放射線治療・小線源治療	○	日本放射線腫瘍学会、日本医学放射線学会(放射線治療専門医)
放射線治療科	助教	萩原 晴倫	放射線腫瘍学	○	日本医学放射線学会(放射線科専門医)
第一外科	教授	元井 冬彦	肝膵膵外科・消化器腫瘍の集学的治療	○	日本外科学会(専門医・指導医)、日本消化器外科学会(専門医・指導医)、日本肝膵膵外科学会(高度技術専門医)、日本消化器病学会(専門医・指導医)、日本新薬学会(認定指導医)、日本静脈経腸栄養学会(認定医)、日本臨床学会(総合認定医)
第一外科	准教授	武者 宏昭	上部消化管	○	日本外科学会(外科専門医)、日本消化器外科学会(消化器外科専門医)
第二外科	教授	内田 敬一郎	循環器・呼吸器・小児外科	○	日本外科学会(専門医)、心臓血管外科専門医
第二外科	助教	大場 栄一	循環器・呼吸器・小児外科	○	日本外科学会(専門医)
脳神経外科	教授	佐藤 慎哉	覚醒下脳手術・小児脳神経外科	○	日本脳神経外科学会(専門医)、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医、日本がん治療認定医機構暫定教育医
脳神経外科	准教授	小久保 安昭	脳血管障害診断治療、脳循環代謝	○	日本脳神経外科学会(専門医)、日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、日本脳中の外科学会技術認定指導医
脳神経外科	講師	松田 薫一郎	悪性脳腫瘍の治療・神経内視鏡手術	○	日本脳神経外科学会(専門医)、日本がん治療認定医、日本神経内視鏡学会技術認定医
整形外科	教授	高木 理彰	股関節、リウマチ、ハムスト	○	日本整形外科学会(専門医)、日本リウマチ学会(専門医・指導医)、日本リハビリテーション医学会(専門医・認定臨床医・指導責任者)、日本がん治療認定医機構暫定教育医
整形外科	講師	鈴木 朱美	膝関節・足・肩関節・スポーツ	○	日本整形外科学会(専門医)
産科婦人科	教授	永瀬 智	婦人科腫瘍	○	日本産科婦人科学会(専門医)、日本がん治療認定医機構(認定医)、婦人科腫瘍学会(専門医)
産科婦人科	准教授	太田 剛	婦人科腫瘍	○	日本産科婦人科学会(専門医・指導医)、日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)、日本婦人科腫瘍学会(婦人科腫瘍専門医)
眼科	講師	金子 優	ぶどう膜炎・網膜硝子体疾患・白内障・難治性疾患	○	日本眼科学会専門医
耳鼻咽喉科	准教授	伊藤 史	聴覚・耳科学・側頭骨外科	○	日本耳鼻咽喉科科学会(専門医・指導医)、厚生労働省補聴器適合判定医、補聴器相談医

●問い合わせ先

山形大学医学部附属病院 総務課卒後臨床研修担当係
 tel.023-628-5017 fax.023-628-5019
 E-mail：yu-sotsugo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

●指導医・研修医等からのメッセージ

◎第一内科：井上 純人
 山形大学医学部附属病院は、研修医が臨床研修を行う上で理想的な環境があると考えております。院内には各専門の医師がおり、常に専門の垣根なく議論をしながら医療を進めていくプロセスに参加することができます。大学病院臨床研修センターでは研修医の研修だけでなく、生活面、待遇面など様々な要望を汲み上げる仕組みを作り、多くの成果を上げております。

上級医の皆さんには是非取り組んでほしいことを挙げます。
 研修医の技術、論文、学会と多くの見聞に触れて、多くの知識を得て下さい。
 見るだけでなく自分でやることで自分の技術として下さい。
 誰かに教えることで自分の知識として下さい。
 主治医として責任を持って議論に参加して下さい。

研修医の皆さんには、学術や生活のことなど、より良い研修環境は誰かに与えられるものではなく、皆さんの取り組みによっても大きく変わっていくものであることをぜひ知って頂ければと思います。皆さんの新しい力が、当院の医療をより良くなる力になってくれることを期待しています。

◎脳神経(2年目)：渡部 尚輝(プログラムA)
 大学病院で初期研修をする上で良い点は二つあると思います。
 一つ目は幅広く学べる環境が整っている点です。大学病院ですでに専門性の高い症例や最先端の治療を間近で経験出来ます。

また、指導医の先生方は研修医へ対しての指導が熱心な方も多いので色々学ぶことが出来ます。二つ目は柔軟性を持たせた研修が出来る点です。山形大学の初期臨床研修プログラムではたすき掛けという制度があり、関連病院でも研修を行うことが出来ます。他の病院で研修を行うことで、大学病院では経験しにくいcommon diseaseを多く経験出来たり、やらせてもらえる手技等も変わってきます。いつもとは違う環境に身を投じることで新たな視点で医療について考えたり、視野を広げたり出来ます。以上二つの点で、大学病院で研修することをオススメしますし、同期が多い等、他にも良い所がたくさんあります。是非一緒に山形大学で働きましょう！

●病院の概要



○病院の沿革と診療について

山形県唯一の公的医療機関として、済生会設立の本旨である無料低額診療等の福祉医療をはじめ、村山二次医療圏の中核的病院として高度・急性期医療を中心に地域医療を担っています。平成11年には、県内で2番目の病院として日本医療機能評価機構の施設認定を受け、2019年に3rdG: ver.2.0の認定を受け更新しました。「患者さん中心の医療の実践」を基本方針として掲げ、「トータルケアの考え」に基づいた疾病予防、治療、在宅医療まで継続した医療の提供、「チーム医療の充実を図り診療機能と患者サービスの向上を目指す」「地域における医療の質向上のため、他の医療機関と協力し臨床教育の実践を図る」ことを中長期の目標として職員一同研鑽に励んでいます。

○病院の診療体制と充実した施設設備

山形市の二次救急医療機関の指定を受けている救急医療をはじめ、村山地域の災害拠点病院など特殊医療の充実を図り、当直体制では、救急室、産科、HCU、NICUにそれぞれ医師を配し、更に各科の拘束体制に加えて看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師が当直しており、様々な事例に対して迅速な対応が図れるよう万全を期しています。

診療においては、急性期医療に対応すべく最新の医療機器を整備、各科がそれぞれの専門領域の質向上に努めていますが、全7室ある手術室をすべてバイオクリーンルームにするなど、施設設備においても充実を図っています。

予防医学では、人間ドック・脳ドックはもとより、生活習慣病患者等が利用する健康増進センターを付設。また、がんの早期発見に寄与するPET/CT装置を備えたPET/CTセンターを平成15年5月に、山形県初の施設として開設し、健診のみならず病病、病診連携に大きな貢献を果たしており、県民医療のレベルアップにつながっているものと考えています。

○当院の診療科の特色 整形外科



山形県内で最も多い15名の整形外科医が在籍しています。令和3年度は、月平均4,456名の外来患者さんを診察し、一日平均91名の患者さんが入院しています。年間合計1,977件の手術を行いました。当院の整形外科の特色として、伝統的に人工関節の手術が非常に多く、人工股関節、人工膝関節ともに年間400件以上行われています。これは県内随一であるのみならず全国でも上位10施設に入る実績であり、関節外科医の修練の場にもなっています。

産婦人科



NICUと連携した周産期センターで、産婦人科医師と新生児科医師が常時当直し、24時間体制で分娩を監視し、母体と新生児にとっても安全で安心な病院を目指しています。

分娩数は年間700件近くの分娩を扱っています。周産期センターを中心として、ハイリスク妊婦・分娩・産褥管理を行い、ほぼすべての疾患にも対処できるようにしています。

不妊治療に関しては、体外受精を含めた高度生殖補助医療も行っています。

●募集について

臨床研修

- 令和6年度研修医募集定員：5名
- 処遇：・基本給：450,000円（初年度・諸手当含む）
・年間概算支給見込額：6,000,000円（初年度）

●診療科ごとの入院患者・外来患者の数（令和4年度実績）

診療科名	年間入院患者実数	平均在院日数	年間新外来患者数	1日平均外来患者数	年間外来診療日数
産婦人科	1,212	10	974	98.5	243
循環器内科	424	13.3	2,530	51.3	243
消化器内科	791	9.1	3,162	48.8	243
呼吸器内科	0		897	18.5	167
神経内科	34	28.9	708	16.9	232
透析科	0		4	28.5	243
腎臓内科	97	17.6	874	16.3	210
糖・内分泌	115	10.5	2,073	37.0	243
血液内科	0		223	10.8	96
一般内科	77	14.5	274	4.2	77
整形外科	1,948	17	3,870	214.4	243
小児科	495	7	282	11.9	243
外科	748	11	2,675	68.0	243
泌尿器科	192	17	341	34.4	243
皮膚科	0		47	24.8	93
脳神経外科	775	19	479	34.0	243
心臓血管外科	576	28	672	35.3	243
眼科	4	2	46	25.7	93
麻酔科	0		4	5.4	47
放射線科	0		1,008	4.9	243
耳鼻咽喉科	0		35	9.0	143
形成外科	0		35	10.3	93

●救急患者受入人数（令和4年度実績） 3,890人

●学会認定施設の状況

- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本感染症学会認定研修施設
- ・日本呼吸器内視鏡学会関連認定施設
- ・日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導施設
- ・日本神経学会専門医制度教育関連施設
- ・日本糖尿病学会認定教育施設
- ・日本肥満学会認定肥満症専門病院
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会認定教育関連施設
- ・日本周産期・新生児医学会専門医制度（周産期新生児専門医）暫定研修施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本消化器病学会専門医制度認定施設
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本手外科学会認定手外科専門医制度認定研修施設
- ・日本脊椎骨髄病学会脊椎骨髄外科専門医基幹研修施設
- ・日本リウマチ学会教育施設
- ・日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練場所
- ・日本脳卒中学会認定研修教育病院
- ・日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- ・日本脳ドック学会認定脳ドック施設
- ・日本泌尿器科学会専門医教育施設
- ・日本東洋医学会研修施設
- ・日本産科婦人科学会専門医制度卒業後研修指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会専門医制度（周産期母体・胎児専門医）暫定研修施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・下肢静脈瘤に対する血管レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練協力機関（放射線診断、核医学）
- ・ステントグラフト実施施設（腹部大動脈瘤）
- ・日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設
- ・日本人間ドック健診専門医研修施設
- ・日本人間ドック健診施設
- ・外国医師臨床修練指定病院
- ・日本高気圧環境・潜水医学会認定病院

●病院見学は随時受け付けています

実際に当院へおいでいただき、当院の雰囲気を感じてください。当院規程による旅費を支給しますので、お気軽にご連絡ください。

●研修医の募集及び採用の方法等：

- ・募集方法：公募
- ・選考方法：面接（7月下旬～9月上旬）・小論文
- ・締切：8月末頃の予定、募集人員に満たない場合は随時受け付け。
- ・提出書類：履歴書、成績証明書、卒業見込証明書、健康診断書
- ・マッチング利用の有無：有

●プログラムについて

臨床研修

- ・必修分野は内科24週以上、救急部門は12週以上、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療は4週以上とし、一般外来での研修を含める。救急部門は1年次、地域医療は2年次に研修を行う。
- ・救急部門は外科に所属し、救急医療に関する知識・手技の修得、HCUで研修を行い、救急外来での研修も行う。救急外来での研修は2年間を通じて行うものとする。
- ・必修分野以外の選択研修期間は、原則として4科までとし、各々4週以上の研修期間とする。
- ・1名の研修医に対し1名の指導医が担当するマンツーマン形式であるため、指導医と研修医とのコミュニケーションがとりやすく、円滑な研修を行なう事ができる。
- ・希望者は、同じ済生会グループである済生会宇都宮病院（救急・麻酔・選択）、水戸済生会総合病院（救急・麻酔・選択）、済生会小樽病院（地域医療）での研修を行うことが出来る。

●研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月									
1年次	選択分野			救急部門			外科			産婦人科			小児科			精神科			内科		
2年次	内科						地域医療						選択分野								

※1年次の初期2週間はオリエンテーションにあて
 ※ローテーションは順不同
 ※選択分野の診療科は研修プログラムを参照

●医師紹介・メッセージ

●常勤勤務医師紹介

職名	氏名	診療科	学会認定医等	研修医指導医 認定資格
名誉院長	濱崎 允	整形外科		×
顧問	金杉 浩	産婦人科	日本産婦人科学会(専門医/指導医)、日本東洋医学会(東方専門医/指導医)、山形県医師会(母体保護法指定医師)	×
院長	石井 政次	整形外科	日本整形外科学会(専門医)、日本リハビリテーション医学会(認定臨床医)、日本人工関節学会(認定医)、日本体育協会(スポーツドクター)	○
診療顧問	折田 博之	心臓血管外科・呼吸器外科	日本内科学会(専門医/指導医/認定医)、日本胸部外科学会(専門医/指導医)、日本心臓血管外科学会(専門医/修練指導者)、日本血管外科学会(専門医)	○
	細矢 貴亮	放射線科	日本医学放射線学会(研修指導者・放射線診断専門医)	○
	岡中英夫	糖尿病内科	日本内科学会(総合内科専門医)、日本糖尿病学会(専門医)、日本内分泌学会(専門医)	○
	本田 耕一	神経内科	日本内科学会(総合内科専門医/指導医/認定内科医)、日本神経学会(神経内科学専門医/指導医)、日本高気圧環境・潜水医(高気圧医学専門医)、日本医師会(認定産産医)	○
	太田 圭治	外科	日本外科学会(専門医)、日本消化器外科学会(認定医)、日本乳癌学会(乳癌専門医)/日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)	○
	阪西 通夫	産婦人科	日本産婦人科学会(専門医/指導医)、日本人類遺伝学会(臨床遺伝専門医・指導医)/日本周産期・新生児医学会(周産期(母体・胎児)専門医/暫定指導医)、日本医師会(生涯教育認定医)、日本専門医機構(産婦人科専門医)、山形県医師会(母体保護法指定医師)	○
副院長	福島 重宣	整形外科	日本整形外科学会(専門医)、日本人工関節学会(認定医)	○
	廣岡 茂樹	心臓血管外科・呼吸器外科	日本外科学会(専門医/指導医/認定医)、日本胸部外科学会(専門医)、日本心臓血管外科学会(専門医)、日本血管外科学会(専門医)、血管内レーザー焼灼術実務管理委員会(指導医)	○
	大友 純	循環器内科	日本内科学会(認定医)、日本循環器学会(専門医)、日本医師会(認定産産医)	○
統括診療部長	磯部 秀樹	外科	日本外科学会(外科専門医)、日本消化器病学会(消化器病専門医)、日本外科感染症学会(ICD)、日本消化器外科学会(消化器外科専門医/消化器がん外科治療認定医)、日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)、日本静脈経腸栄養学会(TNT)	○
	松尾 拓	消化器内科	日本内科学会(総合内科専門医・認定内科医)、日本消化器病学会(消化器病専門医・指導医)、日本消化器内視鏡学会(消化器内視鏡専門医・指導医)、日本肝臓学会(研鑽専門医)	×
診療部長	石垣 大介	整形外科	日本整形外科学会(専門医/認定スポーツ医)、日本手外科学会(専門医)、日本高気圧環境・潜水医(高気圧医学専門医)	○
	千葉 克司	整形外科	日本整形外科学会(専門医/脊椎骨髄病医/脊椎内視鏡下手術・技術認定医)、日本脊椎骨髄病学会・日本骨髄外科学会(専門医)	○
	佐々木 幹	整形外科	日本整形外科学会(専門医)、日本リハビリテーション医学会(専門医/指導医)、日本リウマチ学会(指導医)、日本整形外科学会(専門医)、日本体育協会(認定スポーツドクター)、日本人工関節学会(認定医)	×
	高崎 聡	腎臓内科	日本内科学会(専門医/認定内科医)、日本腎臓学会(専門医/指導医)、日本透析医学会(専門医)	○
	荒若 信子	糖尿病内科	日本内科学会(専門医/認定医)、日本糖尿病学会(専門医/研修指導医)、日本老年医学会(専門医)、日本人間ドック学会(専門医/指導医/認定医)糖尿病情報管理指導)	○
	竹村 直	脳神経外科	日本脳神経外科学会(専門医)、日本脳卒中学会(専門医・指導医)	○
	赤羽 和博	小児科	日本周産期・新生児医学会(周産期(新生児)医専門医/暫定指導医)、日本小児科学会(専門医)	○
	小林 なぎさ	麻酔科	日本麻酔科学会(専門医/指導医)、日本ペインクリニック学会(専門医)	○
	橋本 透	泌尿器科	日本泌尿器科学会(泌尿器科専門医)	○
	三井 英明	放射線科		○
	川口 清	外科	日本外科学会(専門医/指導医)、日本消化器病学会(専門医/指導医)、日本消化器外科学会(専門医/指導医/消化器がん外科治療認定医)、日本内視鏡外科学会(技術認定医)、日本がん治療認定医機構(がん治療認定医/暫定教育医)	○
診療副部長	内海 秀明	整形外科	日本整形外科学会(専門医/脊椎骨髄病医/脊椎内視鏡下手術・技術認定医)日本脊椎骨髄病学会(専門医)	○
	穴戸 哲郎	循環器内科	日本内科学会(総合内科専門医)、日本循環器学会(循環器専門医)、日本心臓リハビリテーション学会(心臓リハビリテーション指導士)	○
	平田 慎也	消化器内科	日本内科学会(専門医/認定医)、日本消化器病学会(専門医)、日本消化器内視鏡学会(専門医)、日本人間ドック学会(専門医/健診指導医/認定医)、日本胆食療リハビリテーション学会(認定士)、日本静脈経腸栄養学会(TNT)	○
	中村 由紀子	消化器内科	日本外科学会(外科専門医)、日本胸部外科学会(専門医)、日本心臓血管外科学会(専門医・修練指導者)、日本血管外科学会(専門医)、日本肝臓学会(専門医)、日本ステントグラフト実施基準管理委員会(実施医)	○
	外田 洋孝	心臓血管外科・呼吸器外科	日本外科学会(専門医/指導医)、日本消化器病学会(専門医/指導医)、日本消化器外科学会(専門医/指導医/消化器がん外科治療認定医)、日本内視鏡外科学会(技術認定医)、日本食道学会(専門医/認定医)	○
	藤本 博人	外科	日本産科婦人科学会(専門医/指導医)、日本周産期・新生児医学会(周産期(母体・胎児)専門医/代表指導医)、日本専門医機構(産婦人科専門医)、山形県医師会(母体保護法指定医師)	○
	大貫 毅	産婦人科	日本産科婦人科学会(専門医/指導医)、日本周産期・新生児医学会(周産期(母体・胎児)専門医/代表指導医)、日本専門医機構(産婦人科専門医)、山形県医師会(母体保護法指定医師)	○
	金子 一善	循環器内科	日本内科学会(認定医)、日本循環器学会(専門医)、日本心臓血管インターベンション治療学会(専門医)、日本心臓病学会(心臓病上級臨床医(FJCC))、日本高血圧学会(専門医/指導医)	○
医長	大木 弘治	整形外科	日本整形外科学会(専門医)、日本人工関節学会(認定医)	○
	廣藤 佑規	脳神経外科	日本脳神経外科学会(専門医)、日本定位・機能神経外科学会(機能定位脳手術技術認定)、日本脳卒中学会(専門医)	○
副医長	杉山 晶子	産婦人科	日本産科婦人科学会(専門医/指導医)	×

職名	氏名	診療科	学会認定医等	研修医指導医 認定資格
	西塚 碧	内科	日本禁煙学会(認定指導医/禁煙サポーター)、日本人間ドック学会(専門医)	○
	相澤 久穂	糖尿病内科	日本内科学会(認定内科医)	×
	青木 倉樹	小児科	日本小児科学会(専門医)、日本周産期・新生児医学会(周産期(新生児)専門医)	○
	木村 理俊	放射線科	日本医学放射線学会(専門医)、日本核医学会(認定医)	×
	今 孝志	消化器内科	日本内科学会、日本消化器病学会(専門医)、日本消化器内視鏡学会(専門医)、日本消化化学学会(胃腸科専門医)	○
	高橋 吉子	産婦人科	日本産科婦人科学会(専門医/指導医)	×
	出井 謙	産婦人科	日本産科婦人科学会(専門医)、日本周産期・新生児医学会(周産期専門医)	×
	竹内 隆二	整形外科	日本整形外科学会(専門医)	×
	安次富 咲子	腎臓内科	日本腎臓学会(専門医)	×
医師	石川 朗	整形外科	日本整形外科学会(専門医/運動器リハビリテーション医)、日本リハビリテーション医学会(専門医・認定臨床医)、日本臨床腫瘍学会(暫定指導医)、日本リウマチ学会(専門医)	○
	伊東 貴史	整形外科	日本整形外科学会(専門医)、日本体育協会(スポーツドクター)	×
	伊藤 友一	リハビリテーション科	日本整形外科学会(専門医/脊椎骨髄病医/運動器リハビリテーション医)、日本リハビリテーション医学会(認定臨床医)、日本脊椎骨髄病学会(名誉指導医)、日本骨粗鬆症学会(認定医)、日本体育協会(スポーツドクター)、日本医師会(認定産産医)	○
	小松 尚	循環器内科		○
	浦山 雅弘	外科	日本外科学会(専門医/指導医)、日本消化器病学会(専門医/指導医)、日本消化器外科学会(専門医/指導医/消化器がん治療認定医)、日本がん治療認定医機構(がん治療認定医/暫定教育医)	○
	松内 祥子	小児科	日本小児科学会(専門医)、日本周産期・新生児医学会(新生児専門医)	×
	大地 宏	泌尿器科	日本泌尿器科学会(専門医)	○
	高橋 健大	整形外科	日本整形外科学会(専門医)	×
	村中 雄治	整形外科		×
	片山 れな	整形外科		×
	宮地 隆浩	整形外科	日本整形外科学会(専門医)	×
	神村 慈	脳神経外科	日本脳神経外科学会(専門医)	×
	斎藤 大三	整形外科		×
	大 類 健	小児科		×
	小 仲 良 行	外科		×
	小 松 正 典	産婦人科		×
基幹型研修医	早坂 純平			×
	村 松 希 平			×
	新野 純平			×
	江畑 亜美			×

●指導医・研修医等からのメッセージ

○基幹型研修医：池田 梓

当院の魅力は現場の雰囲気が非常に良好なことです。指導医の先生方はもちろん、メディカルスタッフ全員が研修医をサポートしてくれます。わからないことをすぐに質問できる環境下で、ただ甘やかすだけでなく、能力に応じて任せる仕事を極めたくさんのことに挑戦させてもらえるため、大きな成長が期待できます。また、地域の中核病院として幅広い症例を扱っているため、研修医として体験すべき能力を確実に培っていくことが出来ると思います。さらに、研修医の人数も多すぎないため、経験したい手技や手術は必ず経験するチャンスがあります！必ず指導医の監視下で行われるため、安全面も保証されています。さらに研修のオンオフがはっきりしているため、プライベートも充実させることが出来ます。一度見学に来て、当院の魅力を感じてみませんか？

山形県立新庄病院

〒996-0025 新庄市若葉町12-55 <http://www.ysh.pref.yamagata.jp/>

●病院の概要



○山形県最上二次保健医療圏唯一の中核病院です。

昭和27年の設立以来69年、「仁・愛・和」を基本理念とする病院憲章の下、高度化、多様化する地域の医療需要に応える努力を積み重ねてきました。

一次から三次医療まで、さまざまな症例の患者の方々が来院され、一部専門領域を除いたほとんどの症例に対応した医療を提供しています。

○救急指定病院として、地域の救急患者のほとんどが搬送されます。

1日26.9人、うち救急車搬送6.9人（R4年度平均）の救急患者を受け入れています。消防本部と連携し、地域メディカルコントロール体制の中心として、救急患者の救命率向上に努め、救急救命士の病院実習も積極的に受け入れています。

麻酔科医師等救急スタッフの充実強化を図っています。

○へき地医療拠点病院として、地域の町立病院、村立診療所と連携して、地域医療を支えています。

画像診断等を通じて、地域の病院、診療所を支援しています。

地域医療機関に院内の症例検討会、ICLS勉強会等を開放しています。

また、地域医療連携クリニックルバスを通じた病診連携を推進しています。

○病院見学について

随時受け入れてしております。総務課研修医募集担当まで、ご希望の日時等をご連絡ください。

●募集について

臨床研修

- 令和6年度研修医募集定員：5名
- 令和5年度研修医受入数：1年次：0名 ・ 2年次：0名
- 処遇：
 - ・基本給：366,096円（初年度）・383,844円（2年目）
 - ・住民手当、通勤手当、時間外手当、宿日直手当、期末手当等
 - ・年間概算支給額例：6,500,000円程度（初年度）7,500,000円程度（2年目）

●研修医の募集及び採用の方法等：

- ・募集方法：公募
- ・選考方法：面接
- ・応募必要書類：選考申込書、履歴書、成績証明書
- ・マッチング利用の有無：有

●診療科ごとの入院患者・外来患者の数（令和4年度実績）

診療科名	年間入院患者数	平均在院日数	年間新外来患者数	一日平均外来患者数	年間外来診療日数	常医師数	勤数	指導医数
内科	2,389	18.7	4,356	204	244	15	15	9
小児科	349	4.4	1,690	18	244	3	3	2
外科 乳外科	525	7.3	523	35	244	7	5	5
整形外科	690	22.6	966	78	244	4	0	0
形成外科	104	7.4	530	32	244	2	1	1
脳外科	231	31.8	639	32	244	2	0	0
皮膚科	0	0	571	42	244	1	1	1
泌尿器科	349	9.5	413	32	244	3	1	1
産婦人科	556	8.2	1,184	51	244	3	1	1
眼科	129	1.8	100	32	244	1	0	0
耳鼻咽喉科	442	5.4	609	54	244	3	2	2
麻酔科	0	0	0	0	244	1	1	1
放射線科	0	0	0	15	244	2	1	1
救急科	0	0	747	17	244	2	0	0
合計	5,764	117.1	12,328	642	244	49	24	24

※医師数はR5.4.1現在

●救急患者受入人数（令和4年度実績） 9,847人

●各種指定の状況

- ・医師臨床研修病院（基幹型および協力型）
- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・へき地医療拠点病院
- ・第二種感染症指定医療機関
- ・救急告示病院
- ・日本医療機能評価機構認定病院
- ・災害拠点病院
- ・山形県肝炎専門医療機関
- ・エイズ治療拠点病院

●各学会研修施設等認定状況

- ・日本内科学会認定医制度教育関連病院
- ・日本整形外科学会専門医制度研修施設
- ・日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
- ・日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- ・呼吸器外科専門医合同委員会呼吸器外科専門医制度関連施設
- ・日本脳卒中学会専門医認定制度研修教育病院
- ・日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- ・日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 エキスパンダー実施施設
- ・日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会 インプラント実施施設
- ・日本栄養療法推進協議会認定 NST 稼働施設
- ・日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- ・日本消化器病学会関連施設
- ・日本脳卒中学会一次脳卒中センター認定施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本形成外科学会認定施設
- ・日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本がん治療認定医機構認定研修施設
- ・日本食道学会全国登録認定施設
- ・日本臨床細胞学会認定施設
- ・日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
- ・日本呼吸器学会関連施設
- ・日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- ・日本消化器内視鏡学会指導連携施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・教育医制度認定施設
- ・日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- ・日本肝臓学会専門医制度認定施設

病院長：八戸 茂美

病床数：454【一般：452／感染症：2】

医師数：49

診療科目：内、総診、消内、脳神内、循内、呼内、血内、腫内、小、外、乳外、整、形成、脳、皮、泌、産婦、眼、耳、放、麻、救

●問い合わせ先

山形県立新庄病院 総務課 庄司

tel.0233-22-5525 fax.0233-23-2987

E-mail：shinbyo@pref.yamagata.jp

●プログラムについて

臨床研修

- ・充実したスタッフの下、メディカルコントロールをはじめ、一次から高度救急医療まで、救急医療の現場を、多数経験できます。
- ・一次から三次医療まで、多種多様な症例を数多く経験することにより、プライマリケアの基本的診療能力が習得できます。
- ・地域内の町立病院、村立診療所、保健所等を含めた研修を行うことにより、地域医療の実感を体得できます。
- ・可能な限り自由選択研修を取り入れることにより、将来の専門性も考えた研修を行うことができます。
- ・少人数（5人／年）の利点を活かし、研修医の皆さんの希望を最大限尊重したマンツーマンの研修を行います。

●研修スケジュール（令和6年度）

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
1年次	内科															麻酔			救急			必修4科目（1科目につき4週以上） 外科・小児科・産婦人科・精神科 ※精神科は協力施設での研修になります														

	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5			
2年次	必修4科目			地域医療			自由選択 ★必修科目に加え、整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・地域保健																													

【救急当直】1年次は副直として月3回、2年次は月3回程度実施

○備考

- ・救急部門は1年次に4週研修し、2年次に月4回程度の救急外来の当直を担当することで合計12週相当の期間を確保する。
- ・協力施設における研修は2年間で12週以内とする。
- ・CPCは山形県立新庄病院において実施する。
- ・自由選択科目は、必修科目に加え、整形外科・形成外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・耳鼻咽喉科・放射線科・麻酔科・地域保健から4週単位で選択し研修する。
- ・なお、到達目標に未到達がある場合は、到達目標に必要な診療科を充てることができる。

●医師紹介・メッセージ

●常勤勤務医師紹介（指導医）

担当分野	氏名	役職	指導医講習会等の受講経歴	資格等
内科	八戸 茂美	院長	○	第6回新臨床研修指導医養成講習会受講、日本消化器内視鏡学会専門医、日本内科学会認定医・指導医
内科	福井 忠久	検査部長(兼)化学療法室長	○	日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医、日本消化器病学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、腫瘍指定医、日本消化器学会東北支部評議員、山形大学医学部客員教授(臨床指導者)、日本老年医学会高齢者研修会受講、緩和ケア研修会修了、臨床研修指導者講習会受講、秋田大学医学部非常勤講師(臨床腫瘍学)
内科	奥本 和夫	生活習慣病予防、対策部長	○	日本内科学会総合内科専門医・指導医、東北支部評議員、日本消化器病学会専門医、学会評議員、日本消化器内視鏡学会専門医、東北支部評議員、日本肝臓学会専門医、認定指導医、当部会評議員、二門門脈圧亢進症学会、内視鏡的治療領域技術認定医、日本内科学会JMECCインストラクター、臨床研修指導医講習会受講、緩和ケア研修会修了
内科	宮本 卓也	第一診療部長(兼)人工透析室長	○	日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本循環器学会認定FICs、日本内科学会認定JMECCインストラクター、日本循環器学会認定ACLSコースディレクター、日本心臓インターベンション治療学会認定医、山形大学医学部臨床教授(循環器内科学)、緩和ケア研修会修了、日本動脈高血圧・肺循環学会評議員、日本循環器学会東北支部評議員、腫瘍指定医
内科	結城 孝一	地域医療部副部长	○	平成21年度NPO法人良辰協議会臨床研修指導医講習会受講
内科	堀内 英和	診療機材部長	○	第7回東北ブロック医師臨床研修指導医ワークショップ受講、日本内科学会認定医
内科	奥山 英伸	放射線部長	○	山形県臨床研修指導医講習会受講、日本内科学会総合内科専門医・指導医、日本循環器学会専門医、認定医療コーディネーター、日本心臓インターベンション治療学会認定医、総合診療領域特任指導医、プログラム統括責任者、腫瘍指定医
内科	岸 宏希	感染管理室長	○	山形県臨床研修指導医講習会受講、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医、ICD制度協議会認定ICD、日本がん治療認定医機構腫瘍認定、(小児慢性特定疾病)指定医、腫瘍指定医、緩和ケア研修会修了、がんのリハビリテーション研修修了
内科	秋葉 昭多	検査部副部长	○	山形県臨床研修指導医講習会受講、日本内科学会認定医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医
小児科	本間 友美	教育研修部長	○	第6回東北ブロック医師臨床研修指導医ワークショップ受講、日本小児科学会専門医・指導医
小児科	仁木 敬夫	地域医療部長	○	第13回東北ブロック医師臨床研修指導医ワークショップ受講、日本小児科学会専門医・指導医、日本小児循環器学会専門医、PALSインストラクター、日本DMAT、山形県地域産産が気医療コーディネーター、山形県災害時小児周産期リエゾン
外科 乳癌科	石山 智敏	副院長(統括)	○	日本外科学会専門医・指導医、日本乳癌学会乳癌専門医、日本がん治療認定医機構認定医、日本DMAT専員

●指導医・研修医等からのメッセージ

○院長：八戸 茂美
「医師人生のスタートをどこで始めるか」、迷って当然です。
まずは新庄病院に来てみてください。病院に触れ、スタッフに触れ、地域住民に触れ、そしてわずか2年の間に実に多くの疾患を経験したとき、君たちの選択がベストであったことに気づきます。もちろん充実した研修が送れますよう全職員一丸となって応援します。

○教育研修部長：本間 友美
当院は山形県北部の新庄最上二次医療圏における唯一の中核病院として地域医療を担い、地域のほとんどの救急患者が搬送される病院です。一次から三次医療まで様々な症例を通して、プライマリ・ケアの習得ができます。研修医は少人数の利点を生かし、数多くの手技を経験しています。各診療科の垣根は低く、アットホームな環境で研修できます。ぜひ一度見学いらしてください。地域医療最前線を一緒に体験しましょう。

米沢市立病院

〒992-8502 米沢市相生町6番36号 <http://yonezawa-city-hospital.jp/>

●病院の概要

全国初のチャレンジ「米沢モデル」
公立病院と民間病院が目指す「1つの病院のような連携」

米沢市立病院（公立）三友堂病院（民間）とのコラボ！
専門誌などのメディアにも取り上げられ、国や各自自治体からも注目されています。



令和5年度に新病院を同時開院

【病院の概要】

当院は、置賜二次保健医療圏における基幹病院として、悪性新生物をはじめ様々な疾患に対して高度な治療が行えるよう、高度な医療機器・施設設備の充実に努め、可能な限りこの地域で医療を完結させることを目指し、日々多くの患者さんに向き合っています。さらに、高齢化社会に対応するべく在宅医療や訪問看護に取り組み、地域の医療と介護の連携を進めています。

また、日本赤十字社や米沢市が行う災害救護や防災に関連する訓練や研修に関係職員を参加させるなど、災害発生に即応できる医療体制の整備に鋭意努力し、地域の災害医療活動にも積極的に貢献しています。

今後は、地域の救急医療を含めた急性期医療を守るため、米沢市内の急性期病院である三友堂病院との機能分化・医療連携を進めながら、さらに急性期医療に特化した新たな病院の建設中であり、2023年秋のオープンに向けて全職員一丸となって取り組んでいます。

●募集について

臨床研修

●令和6年度研修医募集定員：4名

●令和5年度研修医受入数：1年次：1名 ・ 2年次：2名

●処遇：

①給 与：1年次 基本給 411,800円 賞与 559,440円
2年次 基本給 427,500円 賞与 1,012,150円
ほかに時間外勤務手当、宿日直手当、住居手当、特殊勤務手当、退職手当支給

②勤務時間：8：30～17：15

③休 暇：年次有給休暇（1年次10日、2年次20日）、年末年始、病休、産休、忌引等

④宿 日 直：1年次 宿日直 月4回以内、2年次 宿日直 月4回以内

⑤宿 舎：単身用8戸

⑥社会保険等：公的医療保険（1年次 健康保険、2年次 山形県市町村職員共済組合）
公 的 年 金（1年次 厚生年金、2年次 山形県市町村職員共済組合）

●研修医の募集、採用の方法：

①募集方法：公募

②選考方法：書類審査、面接

③マッチング利用の有無：有

④募集及び面接の日程

・第1次募集：マッチング中間公表の日まで
面接：応募者と相談の上決定

・第2次募集：随時
面接：応募者と相談の上決定

●診療科ごとの入院患者・外来患者の数（令和4年度実績）

診療科名	年間入院患者実数	平均在院日数	年間新外来患者数	1日平均外来患者数	年間外来診療日数	常勤医師数	指導医数
循環器科	475	17.3	419	26.7	243	2	2
消化器科	975	15.7	601	44.1	243	4	4
内科	137	16.5	1,338	38.5	243	0	0
呼吸器科・腎臓膠原内科	58	20.6	108	13.4	243	1	0
神経内科	0	0	34	4.8	243	0	0
小児科	515	4.4	1,344	30.9	243	4	3
皮膚科	0	0	284	16.6	243	0	0
放射線科	0	0	785	4.5	243	2	1
外科	549	14	251	33.0	243	4	3
心臓血管外科	158	18	109	11.8	243	2	2
整形外科	348	27.3	926	57.1	243	3	2
形成外科	0	0	330	66.0	243	0	0
脳神経外科	185	15.3	294	15.1	243	3	2
泌尿器科	447	10.7	249	68.7	243	2	1
産婦人科	493	8.4	502	36.8	243	3	2
眼	578	5.6	602	67.3	243	2	1
耳鼻咽喉科	241	5.6	697	24.7	243	2	1
麻酔科・集中治療科	154	21.4	11	1.5	243	3	3
アレルギー科	0	0	1	0.1	243	0	0

※医師数は令和5年4月1日現在

●救急患者受入人数（令和4年度実績） 8,010人

●学会認定施設の状況

- 日本内科学会認定医制度教育関連病院
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医制度専門医修練施設
- 日本乳癌学会認定医・専門医制度関連施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設
- 日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
- 麻酔科標榜のための研修施設である麻酔科認定病院
- 日本病理学会研修登録施設
- 三学会（胸部・心外科・血管外科）構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 日本臨床細胞学会施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST稼働施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設
- 日本脈管学会認定研修関連施設
- 日本気管食道学会認定気管食道専門医研修施設（咽頭系）
- 日本栄養療法推進協議会認定NST稼働施設
- 日本周産期・新生児医学会周産期新生児専門医制度認定研修施設
- 胸部ステントグラフト実施施設
- 腹部ステントグラフト実施施設
- 下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術の実施基準による実施施設
- 浅大臍動脈ステントグラフト実施施設
- 福島県立医科大学附属病院卒後臨床研修協力型臨床研修病院
- 山形大学医学部附属病院卒後臨床研修協力型臨床研修病院
- 日本生殖医療学会専門医制度研修連携施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本周産期・新生児医学会周産期（母体・胎児）専門医制度認定研修施設
- 日本消化器内視鏡学会認定指導連携施設
- 日本医学放射線学会認定画像診断管理認証施設

●生活環境（交通アクセス・教育環境・自然環境・文化施設など）

【交通アクセス】

- 自動車：東北自動車道 福島JCT を経て東北中央道 米沢中央 IC から約4km
- 電車：山形新幹線 米沢駅

【自然環境】

山形県の最南端、吾妻連峰の裾野に広がる米沢盆地に位置し、福島県と接している。日本海側の盆地特有の気候で、年間の降水量は全国平均と比較してやや少ないものの、冬期間の降雪量は市街地の平均で1m。豪雪以外の自然災害は比較的少なく、四季折々の豊かな自然景観と「白布」、「小野川」をはじめとした温泉群に恵まれている。

【観光施設】

上杉15万石の城下町、米沢城跡（松が岬公園）、上杉家廟所、林泉寺、天元台スキー場、米沢スキー場など

●病院見学について

随時受け付けておりますので、ご希望の日時をご連絡ください。ホームページに必要事項を記載しております。

病 院 長：長岡 明

病 床 数：322【一般：322】

医 師 数：48（臨床研修医等を含む）

診 療 科 目：循、消、内、呼、神内、小、皮、アレルギー、放、外、心外、整、形、脳外、泌、産婦、眼、耳、麻、リハ

●プログラムについて

臨床研修

- 研修医に、指導医がマンツーマンでつけるので、指導医による指導がしっかりと行われ多くの経験が積めます。
- 各科の隔たりもなく、相互に話がしやすい雰囲気の中で研修に取り組み、指導体制も充実しています。
- 山形大学をはじめ臨床研修協力病院での実習も可能で選択の幅が広がるとともに自分の希望に沿ったプログラムの実施が可能です。
- 地域医療研修として、小国町立病院でへき地医療の研修が可能です。
- 研修医も学会、救急講習へ参加することができます。

●研修スケジュール（例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	※	内科					救急部門			小児科		産婦人科
2年次	外科		精神科	自由選択	地域医療	自由選択						

※オリエンテーション

●医師紹介・メッセージ

●常勤勤務医師紹介

職 名	氏 名	現在の専門分野、診療科名、学会認定等	指 導 医 講習会の 受講状況
病院事業管理者	渡 邊 孝 男	日本医師会認定健康スポーツ医、日本医師会認定産業医、日本温泉気候物理医学会認定温泉療法医、日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医	×
病院長・泌尿器科長・人工透析室長	長 岡 明	日本泌尿器科学会泌尿器科専門医・泌尿器科指導医、日本非尿機能学会認定医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、ダヴィンチS支援手術教育プログラム修了、医療安全管理者養成研修会（管理コース）修了、がん緩和ケア研修会修了、臨床研修指導医講習会修了	○
統括副院長・麻酔科長・集中治療科長・臨床工学会長・医療経営対策室長	松 本 幸 夫	日本集中治療医学会専門医、麻酔科標榜医、日本麻酔科学会指導医・専門医、日本救急医学会専門医、臨床研修指導医講習会修了	○
副院長・心臓血管外科長	佐 藤 洋 一	日本循環器学会専門医、日本胸部外科学会認定医・指導医・正会員、三学会構成心臓血管外科専門医認定機構専門医・修練指導者、日本心臓血管外科学会国際会員、下肢静脈瘤に対する血管内レーザー焼灼術指導医、腹部ステントグラフト内挿術指導医、胸部ステントグラフト内挿術指導医、浅大臍動脈ステントグラフト実施医、臨床研修指導医養成講習会修了、プログラム責任者養成講習会修了	○
副院長・外科長・臨床検査科長・救急室長・人間ドック室長・感染対策室長	菅 野 博 隆	日本外科学会認定医・外科専門医・指導医、日本消化器外科学会認定医・消化器外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本外科感染症学会外科周術期感染管理認定医、教育医、日本人間ドック学会人間ドック健診情報管理指導士、日本肝胆膵外科学会評議員、マンモグラフィー読影B-認定医、ICD制度協議会インフェクションコントロールドクター、日本外科学会指導日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本化学療法学会抗腫瘍化学療法認定医・指導医、臨床研修指導医養成講習会修了	○
診療部長・整形外科部長	川 路 博 之	日本整形外科学会認定医、臨床研修指導医講習会修了、向精神薬の適正使用に係る研修修了、小児運動器疾患指導管理セミナー受講修了	○
診療部長・第二内科部長・医療安全管理部長	吉 田 尚 美	産業医、臨床研修指導医養成講習会修了	○
診療部長・小児科部長	本 間 信 夫	日本小児科学会専門医、臨床研修指導医養成講習会修了	○
診療技術部長・救急科部長・脳神経外科長	川 瀬 誠	日本脳神経外科専門医、日本脳卒中学会専門医、日本神経内視鏡学会認定医、良陵協議会臨床研修指導医講習会修了	○
第一内科部長	平 カヤノ	日本循環器学会認定循環器専門医、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本不整脈心電学会不整脈専門医、がん緩和ケア研修会修了、臨床研修指導医養成講習会修了、プログラム責任者養成講習会修了	○
第一内科部長	上 北 洋 徳	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本心臓インターベンション治療学会認定医、日本心臓リハビリテーション学会心臓リハビリテーション指導士、日本救急医学会CLS・BLSコースディレクター、JMECCインストラクター、臨床研修指導医養成講習会修了	○
第一内科医員	小 林 傑	日本内科学会内科専門医、山形県がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了	×
第二内科長	鈴 木 明 彦	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本消化器病学会専門医	×
第二内科長	佐 藤 智佳子	日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医、臨床研修指導医養成講習会修了、プログラム責任者養成講習会修了	○
第二内科 医 長	三 浦 友 来	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会消化器病専門医、臨床研修指導医養成講習会修了	○
小児科長	笹 真 一	日本小児科学会専門医、山形県がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了、臨床研修指導医養成講習会修了	○
小児科長	高 橋 憲 幸	日本小児科学会専門医、日本血液学会専門医、臨床研修指導医養成講習会受講、山形県がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会修了、小児科医のための緩和ケア教育プログラム履修	○
小児科 医 員	安 達 幸 輔	日本小児科学会、日本小児血液がん学会	×
放射線科長	森 岡 梢	日本医学放射線学会放射線診断専門医、臨床研修指導医養成講習会修了	○
放射線科 医 長	柴 田 芽 聖 理	日本医学放射線学会放射線診断専門医、検診マンモグラフィ読影認定医（AS判定）	×
外科部長・内視鏡外科長	佐 藤 佳 宏	日本外科学会認定医、日本外科学会認定外科専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本乳癌学会乳癌専門医、乳癌指導医、Austin Journal of Surgery Editorial Board Membership、HSOA Journal of Emergency Medicine and Surgical Care Editorial Board Membership、日本外科学会指導日本がん治療認定医機構がん治療認定医、臨床研修指導医養成講習会修了	○
外科 医 長	渡 邊 淳 一 郎	日本外科学会外科専門医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・消化器がん外科治療認定医、臨床研修指導医養成講習会修了	○
外科 医 員	菅 原 良 太		×
乳腺外科部長・緩和ケア内科長・中央手術室長	橋 本 敏 夫	日本外科学会認定医、日本外科学会認定外科専門医、日本消化器外科学会専門医、消化器がん外科治療認定医、日本乳癌学会認定医、日本乳癌学会乳癌専門医、乳癌指導医、Austin Journal of Surgery Editorial Board Membership、日本外科学会認定医機構がん治療認定医、臨床研修指導医養成講習会修了	○

●問い合わせ先

米沢市立病院 事務局長務課 加藤

tel.0238-22-2450 fax.0238-22-2876

E-mail：bsoumu-ka@city.yonezawa.yamagata.jp

●指導医・研修医等からのメッセージ

【指導医から】 副院長・臨床研修プログラム責任者：佐藤 洋一

当院は2023年11月1日から新病院が開院し、急性期治療に特化した病院となります。救急治療や手術、カテーテル検査や内視鏡検査に重点を置き、MRIやCT、アンギオ装置などの機器はそれぞれ2台に増えます。地域包括ケア病床はなくなり、入院期間がDPCIを超えたら隣接する三友堂病院に転院となります。手術数や検査数は現在より増えることが予想され、より魅力ある研修が期待されます。新病院になっても、病院全体がアットホームでストレスが少ない、各診療科の垣根が低く連携が良いこと、スタッフが優しく親切であるなどの利点は継続していきます。また、研修医1人当たりが実際に経験できる手術や手技は今まで以上に増える可能性が高いと考えます。

病院全体で研修医を大切に育てようとする風習はこれからも変わりませんし、教育に熱心な指導医が揃っておりますので、是非新病院と一緒に働いてください。米沢は美味しいものも沢山ありますし、歴史と風情のある素敵なところです。宜しくお願いします。

【研修医から】 臨床研修医：平野 まどか

医学生の皆様、こんにちは。私から当院の魅力をお伝えできれば幸いです。まず、私の感じる当院の一番の魅力は、先生方やメディカルの方々との距離が近く、診療科の垣根がない所です。研修中に気になった症例に関して、どの科の先生にもすぐに質問でき、また先生方からも多くの手技を経験させていただきました。また、先生だけでなく、メディカルの方々からもたくさんのお話を聞かせていただけます。その理由として、研修医の数が少なく、病院全体で研修医を大切にしていただけける環境があるからだろうと考えています。また、救急業務では、CommonDiseaseを数多く診ることができ、自信を持って救急外来に立つことができるようになります。患者さんから教えていただけることは、学生時代に感じていたことよりもはるかに多く、たくさん症例を独り占めできる当院で研修することで着実に実践力を身に付けることができます。気になった方は、ぜひ一度見学にいらしてください！待っています。

公立置賜総合病院

〒992-0601 東置賜郡川西町大字西大塚2000番地 http://www.okitama-hp.or.jp/

病院長：林 雅弘
病床数：496【一般：426／救急：20／感染症：4／精神：46】
医師数：101
診療科目：内、精、神内、消内、循内、小、外、消外、呼外、整、脳外、心外、皮、泌、産婦、眼、耳、リハ、放、歯口、麻、形、救

●問い合わせ先
公立置賜総合病院 総務課 職員係
tel.0238-46-5000 fax.0238-46-5711
E-mail : soumu@okitama-hp.or.jp

●病院の概要



当院は、置賜地域の高度医療を担う拠点として、隣接する二市二町（長井市・南陽市・川西町・飯豊町）と山形県が協力して建設し、2000年11月から診察を開始した病院です。それまでの市立病院・町立病院は、住民のより身近なサテライト医療施設として初期医療や慢性期医療を担い、高度医療は当院が担うこととし、地域の医療機能を分担する新たな医療提供システムを構築しています。

また、救命救急センターを併設し、脳卒中、心筋梗塞、頭部損傷等の救急患者に迅速な対応をするために、専門の医師、看護職員が24時間体制で待機し治療にあたっており、広域的な救急搬送体制を確立するために緊急用ヘリポートも設置しています。

こうしたことから、当院には急性期の受診者が多く、疾患の変化に富んでいます。また、手術件数も多く、基本的な診療能力を身につけるには絶好の条件を備えているといえます。

当院における臨床研修では、将来の専門性にかかわらず、日常診療で遭遇することが多い疾患・病態に迅速で適切に対応できる基本的な診療能力を身につけられるような研修内容としています。

◎病院理念「心かよう信頼と安心の病院」

＜運営方針＞

- ①患者本位の医療の展開
- ②高度・救急医療の提供
- ③健全経営の確保
- ④人材の育成
- ⑤地域連携の推進
- ⑥快適な療養環境の提供

●診療科ごとの入院患者・外来患者の数（令和4年度実績）

科	入院患者数	平均在院日数	新外来患者数	外来患者数/日	年間外来診療日数	常勤医師数	指導医
内科	1,876	13.9	6,485	301.1	243	12	3
消化器内科	1,535	10.2	-	-	243	10	5
循環器内科	769	8.7	-	-	243	7	2
小児科	241	8.0	1,682	19.9	243	3	2
神経内科	472	17.9	500	29.5	243	3	1
外科	1,412	12.3	1,094	64.0	243	8	6
整形外科	1,553	15.1	3,489	139.7	243	10	4
脳神経外科	479	20.9	1,408	18.4	243	3	1
心血管外科	122	14.0	171	7.1	243	1	1
産婦人科	667	7.6	1,056	54.5	243	5	2
眼科	215	1.6	794	47.1	243	3	1
耳鼻咽喉科	504	8.5	1,398	40.3	243	3	1
皮膚科	-	-	542	16.8	243	0	0
泌尿器科	692	6.8	1,021	52.0	243	3	1
精神科	655	48.8	425	72.3	243	5	2
放射線科	-	-	153	20.9	243	5	1
麻酔科	5	13.1	5	1.5	243	3	2
歯科口腔外科	301	4.2	2,736	48.9	243	4	1
救急科	306	11.1	1,804	17.3	243	5	4
形成外科	82	12.4	496	13.3	243	2	1
呼吸器科	173	7.9	247	9.1	243	2	2
総合診療科	390	15.9	470	9.7	243	3	1

※常勤医師数、指導医数は令和5年4月1日現在

●救急患者受入人数（令和4年度実績） 18,269人

●施設認定

- 救命救急センター
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院（地域災害医療センター）
[置賜二次医療圏]
- 第二種感染症指定医療機関 [置賜二次医療圏]
- へき地医療拠点病院
- 臨床研修指定病院 医師 基幹型
- 臨床研修指定病院 歯科医師 基幹型
- 臨床研修指定病院 医師 協力型
- エイズ治療拠点病院
- 地域医療支援病院
- 日本医療機能評価機構認定病院 3rdG:Ver.2.0

●学会認定施設の状況

- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本形成外科学会認定施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会連携施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- 日本糖尿病学会認定施設
- 日本脳神経外科学会専門研修プログラム連携施設
- 日本内科学会専門医制度連携施設
- 日本消化器内視鏡学会指導施設
- 日本消化器病学会認定施設
- 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- 洗大膵臓ステントグラフト認定施設
- 日本乳がん学会専門医制度関連施設
- マンモグラフィ検診施設画像認定施設
- 日本眼科学会専門医制度研修施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本呼吸器外科専門医合同委員会専門医研修連携施設
- 日本呼吸器内視鏡学会認定施設
- 日本心臓血管インターベンション治療学会研修施設
- 日本脳細胞学会認定施設
- 日本臨床神経生理学会教育施設
- 日本麻酔科学会認定病院
- 日本IVR学会専門医修練施設
- 日本血液学会認定専門研修教育施設
- 日本腎臓学会認定教育施設
- 日本腎臓学会指導施設
- 日本小児神経学会小児神経専門医研修認定施設
- 山形県児童相談所協力病院指定
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST 専門療法士認定教育施設
- 日本臨床栄養代謝学会NST 稼働施設
- 日本透析医学会教育関連施設
- 日本内科学会専門医修練施設
- 日本口腔外科学会准研修施設
- 日本脳卒中学会研修教育施設
- 日本医学教育学会機関委員
- 日本神経学会准教育施設
- 日本産科婦人科学会連携施設
- 日本産道学会指導施設
- 日本精神神経学会連携施設
- 日本周産期・新生児医学会補充施設（新生児）
（母体・胎児）
- 日本手外科学会関連研修施設
- 日本総合病院精神医学会専門医研修施設
- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 日本口腔ケア学会認定施設
- 日本不整脈心電学会不整脈専門医研修施設
- 日本専門医機構 総合診療専門医検討委員会総合診療専門研修プログラム認定
- 日本肝臓学会特別連携施設
- 日本栄養療法推進協議会NST 稼働施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会インプラント実施施設
- 日本総合病院精神医学会電気けいれん療法研修施設

●募集について

臨床研修

●令和6年度研修医募集定員

臨床研修医：10人（うち地域医療重点プログラム1人）
専攻医：2人（総合診療科）

●令和5年度研修医受入人数

臨床研修医 ・1年次：8人 ・2年次：10人

●待遇等

臨床研修医

- 給与：1年次月額 366,096円（年額約 700万円）
2年次月額 383,844円（年額約 810万円）
※時間外手当、宿日直手当等を含んだ額です。
- 手当：通勤、退職手当は別途支給します。

- 休 暇：年次有給休暇 20日（初年度 15日）、夏季休暇等
- 公 舎：レジデントハウス

●院内保育所：あり

●募集方法：公募

●選考方法：面接試験

●応募締切：臨床研修医 令和5年8月中旬（予定）

●専攻医 令和5年9月末（予定）

●選考日：病院へお問合せください。

●病院見学：随時受け付けています。E-mailまたは電話でご希望の日時等をお知らせください。

●プログラムについて

臨床研修 プログラム名 公立置賜総合病院卒後臨床研修プログラム

・全ての研修科目の中から1ヶ月単位で選択することができます。

・90名を超える常勤医が在籍しており、手厚くきめ細やかなマンツーマンの指導体制の下、他院とは比較にならないほど数多くの手技を経験することができます。

【自由選択プログラム】

定員 9名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
1年次	内 科						救 急			外 科			小児科	産婦人科	精神科
2年次	地 域			自 由 選 択											

※救急科は3ヵ月必修ですが、救命救急センターにおける宿日直業務を研修期間とすることができます。
※ローテーションは順不同です。

●医師紹介・メッセージ

●常勤勤務医師紹介

所属	職名	氏名	学会認定等	指導医
整形外科	院長	林 雅弘	日本専門医機構（整形外科専門医）、日本整形外科学会（骨格脊髄病医、日本骨格脊髄病学会（専門医・指導医）、日本リハビリテーション医学会（認定臨床医）、日本スポーツ協会（スポーツドクター）	○
消化器外科	副院長	小 澤 孝一郎	日本内科学会（認定医・外科専門医）、日本消化器外科学会（消化器がん外科治療認定医）	○
内科（代謝・内分泌）	副院長	江 口 英 行	日本内科学会（認定内科医・総合内科専門医・指導医）、日本糖尿病学会（専門医・指導医）、日本糖尿病協会（療養指導医）	○
消化器内科	副院長	藤 藤 孝 治	日本内科学会（認定内科医・指導医）、日本肝臓学会（専門医）、日本消化器病学会（専門医・指導医）、日本消化器内視鏡学会（専門医）	○
小児科	副院長	仙 道 大	日本小児科学会（専門医・指導医）	○
呼吸器外科	副院長	安 孫 子 正 美	日本外科学会（外科専門医・指導医）、日本呼吸器外科学会（指導医）、日本胸外科学会（認定医）、呼吸器外科専門医合同委員会（専門医）、日本病院会（医療安全管理者）	○
消化器内科	部長	渡 辺 晋一郎	日本内科学会（認定内科医・指導医）、日本消化器病学会（専門医）、日本消化器内視鏡学会（専門医）	○
消化器内科	副部長	武 田 忠	日本内科学会（認定内科医）、日本消化器病学会（専門医）、日本肝臓学会（専門医）、日本消化器内視鏡学会（専門医）	×
消化器内科	副部長	高 野 潤	日本内科学会（認定内科医）、総合内科専門医・指導医、日本消化器病学会（専門医）、日本消化器内視鏡学会（専門医・指導医）	○
消化器内科	医師	藤 藤 吉 彦		○
消化器内科	医師	梅 原 松 樹	日本内科学会（認定内科医）、日本消化器病学会（専門医）、日本消化器内視鏡学会（専門医）	×
消化器内科	医師	後 藤 哲 郎		×
消化器内科	医師	永 田 大 樹		×
消化器内科	医師	山 内 拓		×
循環器内科	副部長	新 関 武 史	日本内科学会（認定内科医・総合内科専門医・指導医）、日本循環器学会（専門医）、日本心臓血管インターベンション治療学会（認定医・専門医）、日本救急医学会（専門医）、日本心臓学会（上級臨床医）、American Heart Association (ADR治療指導医)	○
循環器内科	医師	佐 々 木 敏 樹	日本内科学会（認定内科医・総合内科専門医・指導医）、日本循環器学会（専門医）、日本心臓血管インターベンション治療学会（認定医）、日本不整脈心電学会（不整脈専門医）	×
循環器内科	医師	岩 山 忠 輝	日本内科学会（認定内科医）、日本循環器学会（専門医）、日本超音波医学会（専門医）、日本心エコー図学会（認定医）、経カテーテルの心臓弁治療関連学会（経カテーテルの心臓弁置換術実施医）	○
循環器内科	医師	土 屋 肇 人	日本内科学会（認定内科医）、日本循環器学会（専門医）、日本超音波医学会（専門医）、日本心エコー図学会（認定医）、経カテーテルの心臓弁治療関連学会（経カテーテルの心臓弁置換術実施医）	×
循環器内科	医師	後 藤 準	日本内科学会（認定内科医）、日本循環器学会（専門医）	×
循環器内科	医師	高 畑 美	日本内科学会（認定内科医）、日本心臓血管インターベンション治療学会（認定医）	×
循環器内科	医師	藤 世 成	日本内科学会（認定内科医）、日本心臓血管インターベンション治療学会（認定医）	×
内科（呼吸器）	副部長	平 岡 紀 行	日本内科学会（認定内科医・総合内科専門医・指導医）、日本呼吸器学会（専門医）、日本結核結核性抗痲菌症学会（結核・抗痲菌症指導医）、ICD（インフュージョンコントロールドクター）、日本病院会（医療安全管理者）	○
内科（呼吸器）	医師	福 島 茂 之		×
内科（呼吸器）	医師	石 橋 悠		×
内科（呼吸器）	医師	花 輪 鶴 翁		×
内科（腎臓・透析）	医師	新 野 弘 樹		○
内科（腎臓・透析）	医師	大 山 みどり	日本内科学会（認定内科医）、日本腎臓学会（専門医、指導医）、日本透析学会（専門医）、日本医師会（臨床医）、日本腎臓学会（腎臓学）	○
内科（腎臓・透析）	医師	藤 田 耕太郎	日本内科学会（認定内科医）	○
内科（血液）	副部長	鈴 木 都 子	日本内科学会（総合内科専門医・指導医）、日本血液学会（専門医）	×
内科（血液）	医師	石 澤 悠 樹		×
内科（代謝・内分泌）	医師	小 川 恭 司	日本専門医機構（内科専門医）	×
内科（代謝・内分泌）	医師	芳 賀 博 帆		×
神経内科	部長	栗 村 正 之	日本内科学会（認定内科医）、総合内科専門医・指導医、日本神経学会（専門医・指導医）、日本臨床神経生理学会（認定医・専門医・指導医）、日本脳卒中学会（専門医）	○
神経内科	医師	岡 部 裕 真		×
神経内科	医師	高 橋 なおみ		×
総合診療科	部長	高 橋 潤	日本プライマリ・ケア連合会（認定医・指導医）、日本病院総合診療医学会（総合診療医）、日本医師会（産業界）	○
総合診療科	医師	高 橋 祥 也	日本専門医機構（総合診療専門医研修特任指導医）、日本内科学会（認定内科医）、日本プライマリ・ケア連合会（認定医・専門医）	×
総合診療科	医師	木 村 謙 太		×
小児科	科長	古 山 政 幸		○
小児科	医師	北 岡 佳 苗		×
精神科	部長	赤 羽 隆 樹	厚生労働省（精神保健指定医）、日本総合病院精神医学会（一般病院連携精神医学専門医—般病院連携精神医学専門医指導医）、日本病院会（医療安全管理者）	○
精神科	副部長	鈴 木 春 芳	厚生労働省（精神保健指定医）、日本精神神経学会（専門医・指導医）	○
精神科	医師	佐 藤 洋 三		×
精神科	医師	鈴木 淳也	厚生労働省（精神保健指定医）、日本精神神経学会（専門医・指導医）	×
精神科	医師	野 村 穂 乃 香		×
消化器外科	部長	水 谷 雅 臣	日本外科学会（認定医・外科専門医・指導医）、日本消化器外科学会（消化器がん外科治療認定医）、専門医・指導医、日本臨床栄養代謝学会（認定医・指導医）、日本臨床医療学会（認定医・研修指導医）、日本乳がん検診精度管理中央機構（検診マンモグラフィ読影認定医師）	○
消化器外科	部長	東 敬 之	日本外科学会（認定医・外科専門医）、日本消化器外科学会（認定医）、日本乳癌学会（乳癌認定医・乳癌専門医）、日本医師会（産業界）、日本乳がん検診精度管理中央機構（検診マンモグラフィ読影認定医師）、日本病院会（診療情報管理士）	○
消化器外科	部長	竹 下 明 子	日本外科学会（認定医・外科専門医・指導医）、日本消化器病学会（専門医・指導医）、日本消化器外科学会（消化器がん治療認定医）、専門医・指導医、日本産道学会（指導医）、日本腎臓学会（指導医）、日本がん治療認定医機構（認定医）、日本腎臓学会（認定医）	○
消化器外科	副部長	森 谷 敏 幸	日本外科学会（認定医・外科専門医・指導医）、日本消化器外科学会（認定医・専門医・指導医）、日本内視鏡外科学会（技術認定医）、日本腎臓学会（指導医）、日本病院会（医療安全管理者）	○
消化器外科	医師	横 山 森 良	日本外科学会（外科専門医）	○
消化器外科	医師	高 木 慎 也	日本外科学会（外科専門医）、日本がん治療認定医機構（認定医）、日本乳がん検診精度管理中央機構（検診マンモグラフィ読影認定医師）	×
消化器外科	医師	伊 藤 駿一郎		×
呼吸器外科	副部長	加 藤 博 久	日本外科学会（認定医・外科専門医・指導医）、呼吸器外科専門医合同委員会（専門医）、日本呼吸器外科学会（胸腔鏡安全技術認定医師）、日本呼吸器内視鏡学会（気管支鏡専門医・指導医）、日本がん治療認定医機構（認定医）	○
心血管外科	医師	神 部 良 太	日本外科学会（外科専門医）	○
整形外科	部長	大 藪 勝 之	日本整形外科学会（専門医）、厚生労働省（日本DMAT隊員）	○

所属	職名	氏名	学会認定等	指導医
整形外科	副部長	山 川 淳 一	日本専門医機構（整形外科専門医）、日本整形外科学会（骨格脊髄病医、運動器リハビリテーション医）、日本骨格脊髄病学会（骨格脊髄外科専門医・指導医）、日本リハビリテーション医学会（認定臨床医）	○
整形外科	医師	本 岡 龍 介	日本整形外科学会（専門医）、厚生労働省（日本DMAT隊員）、日本手外科学会（専門医）、日本リウマチ学会（専門医）、日本医師会（産業界）、日本スポーツ協会（スポーツドクター）	○
整形外科	医師	遠 藤 誠 一	日本整形外科学会（専門医）、運動器リハビリテーション医、日本スポーツ協会（スポーツドクター）	×
整形外科	医師	中 島 拓	日本整形外科学会（専門医）、日本人工関節学会（認定医）、日本スポーツ協会（スポーツドクター）	×
整形外科	医師	長 瀬 貴 明		×
整形外科	医師	吉 岡 大 樹		×
整形外科	医師	村 中 雄 治	日本整形外科学会（専門医）	×
整形外科	医師	高 橋 裕 輝		×
産婦人科	部長	小 島 原 敬 史	日本専門医機構（産婦人科専門医）、日本産科婦人科学会（指導医）、日本婦人科連合学会（専門医）、日本がん治療認定医機構（認定医）、日本医師会（産業界）、日本スポーツ協会（スポーツドクター）、日本病院会（医療安全管理者）	○
産婦人科	医師	伊 藤 泰 史	日本専門医機構（産婦人科専門医）	×
産婦人科	医師	遠 藤 輝 人		×
産婦人科	医師	今 田 健 貴		×
産婦人科	医師	手 塚 尚 広	日本専門医機構（産婦人科専門医）、日本産科婦人科学会（指導医・専門医）	○
泌尿器科	副部長	阿 部 明 彦	日本泌尿器科学会（専門医・指導医）、日本透析医学会（専門医・指導医）	○
泌尿器科	医師	末 永 信 一		×
泌尿器科	医師	小 島 遼 太		×
脳神経外科	副部長	土 谷 大 輔	日本脳神経外科学会（専門医・指導医）、日本脳卒中学会（専門医・指導医）、日本脳神経血管内治療学会（専門医）、日本神経内視鏡学会（認定医）、日本頭痛学会（専門医）、日本リハビリテーション医学会（臨床認定医）、日本認知症学会（専門医・指導医）、日本スポーツ協会（スポーツドクター）	○
脳神経外科	医師	渡 辺 茂 樹		×
脳神経外科	医師	青 藤 諒 二		×
眼科	統括診療部長	高 村 浩	日本眼科学会（専門医・指導医）	○
眼科	医師	朝 井 枝 里 子	日本眼科学会（専門医）	×
眼科	医師	大 沼 貴 哉		×
耳鼻咽喉科	部長	櫻 井 真 一	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（専門医・指導医・補聴器相談医）、日本アレルギー学会（専門医）、日本がん治療認定医機構（認定医）	○
耳鼻咽喉科	医師	浅 野 敬 史	日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会（専門医）	×
耳鼻咽喉科	医師	安 孫 子 佑 子		×
形成外科	部長	菊 地 憲 明	日本形成外科学会（専門医）、小児形成外科分野指導医、再建・マイクロサージャリー分野指導医（領域指導医）、日本整形外科学会（専門医）、日本手外科学会（専門医・指導医）、日本熱傷学会（専門医）、日本がん治療認定医機構（認定医）	○
形成外科	医師	渡 會 咲 耶		×
歯科口腔外科	科長	小 林 武 仁	日本口腔外科学会（認定医・専門医）、日本有病者歯科医療学会（認定医・専門医）、ICD（インフュージョンコントロールドクター）、日本がん治療認定医機構（認定医）	○
歯科口腔外科	歯科医師	須 貝 彩 夏		×
歯科口腔外科	歯科医師	備 井 俊 介		×
歯科口腔外科	歯科医師	坂 本 雄 哉		×
麻酔科	部長	那 須 都 子	日本麻酔科学会（専門医・指導医）、日本ペインクリニック学会（専門医）	○
麻酔科	医師	木 村 相 樹	日本専門医機構（麻酔科専門医）、救急科専門医）、日本麻酔科学会（指導医）、日本医師会（産業界）、厚生労働省（日本DMAT隊員）	○
麻酔科	医師	角 田 凌 太郎		×
放射線科	統括診療部長	伊 東 一 志	日本医学放射線学会（診断専門医・研修指導医）、日本IVR学会（専門医）	○
放射線科	副部長	菅 原 千 智	日本医学放射線学会（診断専門医・研修指導医）、日本乳がん検診精度管理中央機構（検診マンモグラフィ読影認定医師）	×
放射線科	医師	山 田 真 貴	日本医学放射線学会（研修指導医）、日本放射線腫瘍学会/日本医学放射線学会（放射線治療専門医）	×
放射線科	医師	東 野 大 樹	日本医学放射線学会（診断専門医）	○
放射線科	医師	伊 勢 元 晴		×
病理科	部長	前 田 邦 博	日本専門医機構（病理専門医）、日本臨床細胞学会（細胞診専門医）	×
救命救急センター	センター長	五十嵐 季子	日本専門医機構（救急科専門医）、日本麻酔科学会（専門医）	○
救命救急センター	副センター長	金子 忠 弘	日本救急医学会（専門医）、日本小児科学会（専門医）	○
救命救急センター	医師	藤 塚 俊 一		×
救命救急センター	部長	鹿 岡 幸 弘	日本内科学会（認定内科医・総合内科専門医・指導医）、日本神経学会（専門医・指導医）	○
救命救急センター	医師	高 木 潤 一	日本産科婦人科学会（専門医）、日本人間ドック学会（健診情報管理指導士）、日本禁煙学会（禁煙認定指導医）、日本医師会（産業界）	○

●指導医・研修医等からのメッセージ

◎副院長(兼)教育研修部長：江口 英行
当院は、山形県南の置賜地域において唯一の救命救急センターを擁する基幹病院であり、ほぼすべての救急患者が当院に搬送されるため、様々な症例を経験することができる。プライマリ・ケア習得には最適な病院です。さらに、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、感染症指定医療機関にも指定され、専門性の高い疾患も経験できます。
山形市内から車で60分ほどの、どかな田園地帯に病院はあります。一見地味に見えるかも知れませんが、救命救急センターには救急車がひっきりなしに出入りし、「こんな田舎に、こんな大きな病院があったんだ。」というのが多くの研修医の感想です。
当院で中身の濃い研修をして、逞しい医師になりましょう。

◎臨床研修医：高村 祐斗
私は内科志望であり、各科満遍なく学び、救急対応もこなせるようになりたいと思い、当院での研修を選びました。
当院は置賜地域の核病院であり、1次救急から3次救急まで多彩な疾患をみることができます。1年目の間だけでも、急性上気道炎や尿路結石、肺炎などcommon diseaseから高エネルギー外傷、大動脈解離まで救急直中で偏りなく経験することができました。
研修医の人数は一年次9名と程よく、和気藹々と過ごしています。ローテーションの間以外も各科の先生方が研修医一人ひとりのことを気にかけてくださっており、病院全体で研修医を育てようという雰囲気があります。
ぜひ一度病院見学に来ていただき、当院の温かい雰囲気に触れていただけたらと思います。

鶴岡市立荘内病院

〒997-8515 鶴岡市泉町4番20号 <https://www.shonai-hos.jp/>

●病院の概要



当院は、日本海に面した庄内地方の南域、1市2町の人口約150,000人の医療圏における唯一の基幹病院です。平成15年に、免震構造と屋上へりポートを備える災害拠点病院として移転・新築され、現在、一般病床476床、周産期母子医療センター12床(NICU 6、GCU 6)、集中治療センター23床(ICU 6、HCU 9、救急ベッド8)、人間ドック10床の計521床を有しています。

平成25年に創立100周年を迎えた歴史と伝統のある病院で、地域全体の医療の充実と診療圏住民の生命・健康を守ることを使命としています。

近年、地域医療機関への支援とともに、連携、役割分担の推進を担う「地域医療支援病院」の承認(平成20年12月)、24時間体制でのNICUを含む新生児医療、産科の周産期に係る高度な医療を行う「山形県地域周産期母子医療センター」の認定(平成22年6月)を受けております。がん診療においては、外科手術、化学療法、放射線療法、緩和ケアや地域の医療機関等との連携に取り組み、質の高い診療が認められ「山形県がん診療連携指定病院」に指定(平成22年10月)されております。がん診療の画期的な診断技術を発表した慶應義塾大学先端生命科学研究所が進めるがん研究にも、地域の医師会とともに協力体制を築いております。また、平成29年4月には、国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点が開所、さらに、令和2年7月には、同センター東病院と医療連携に関する協定を締結するなど、関係機関と共に研究活動を実施しております。

年間の患者数は、入院が延べ約132,000人、外来が約181,000人、救急が約20,000人で、手術件数(手術室分)は約3,500件です。救急車受入数は、約3,700件で、様々な疾患の患者さんが来院される急性期病院です(すべて令和4年度実績)。

職員が一致団結し、心のこもった患者サービスの向上に努めるとともに、市民から信頼され地域医療に貢献できる質の高い医療人の育成に努めております。

●診療科ごとの入院患者・外来患者の数

診療科名	年間入院患者数	平均日数	年間新外来患者数	1日平均外来患者数	年間外来診療日数	常医師数	勤数	指導医数
内科	1,607	17.5	9,191	216.0	243	6	4	
精神科	0	0	2	2.0	243	0	0	
神経内科	347	18.1	285	22.0	243	2	2	
呼吸器科	125	22.0	171	12.4	243	1	1	
消化器科	988	13.8	750	47.6	243	3	2	
循環器科	541	24.8	210	34.7	243	5	3	
漢方内科	0	0	26	4.5	243	(1)	(0)	
小児科	854	7.7	2,692	57.7	243	7	5	
小児外科	1,475	9.4	535	63.0	243	6	5	
整形外科	1,102	16.9	1,455	61.9	243	7	4	
形成外科	1	1.0	241	7.9	243	0	0	
脳神経外科	459	16.9	586	20.5	243	2	1	
呼吸器外科	0	0	29	4.3	243	0	0	
心臓血管外科	0	0	20	2.2	243	0	0	
小児外科	95	5.6	47	6.1	243	4	2	
皮膚科	11	20.2	169	5.8	243	1	1	
泌尿器科	422	8.6	474	51.6	243	2	2	
産科・婦人科	689	8.5	382	33.1	243	4	2	
眼	343	1.9	548	34.1	243	3	0	
耳鼻咽喉科	21	1.7	215	7.9	243	1	0	
放射線科	0	0	151	22.1	243	2	1	
歯科口腔外科	174	5.8	1,086	21.4	243	4	0	
麻酔科	0	0	13	4.9	243	2	1	
中央検査科	0	0	0	0.0	243	(1)	(1)	
病理	0	0	0	0.0	243	2	0	

(注) 漢方内科及び中央検査科の医師は兼務 ※患者数は令和4年度、医師数は令和5年4月現在

●救急患者受入人数(令和4年度実績) 19,687人

●各種指定・認定状況(令和5年4月現在)

- 未熟児養育医療機関
- 原子爆弾被害者一般疾病医療機関
- 救急告示医療機関
- エイズ治療拠点病院
- 災害拠点病院
- 臨床研修病院
- 地域医療支援病院
- 山形県地域周産期母子医療センター
- 山形県がん診療連携指定病院
- 日本医療機能評価機構認定(一般病院2、(3rdG.Ver.1.1))
- 山形 DMAT 指定病院

●学会認定の状況(令和5年4月現在)

- 日本循環器学会循環器専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本産科婦人科学会専門医制度専攻指導施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度指定研修施設(新生児)
- 日本周産期・新生児医学会専門医制度指定研修施設(母体・胎児)
- 日本脳神経外科学会専門医関連施設
- 日本小児科学会専門医研修施設
- 日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
- 日本泌尿器科学会専門医関連教育施設
- 日本整形外科学会専門医制度研修施設
- 日本病理学会研修登録施設
- 日本臨床細胞学会認定施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設
- 日本栄養療法推進協議会 NST 稼働施設
- 日本口腔外科学会認定研修施設
- 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- 日本アレルギー学会認定教育施設(旧制度)
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本外科学会基幹研修施設
- 日本臨床検査技師会精度保証施設
- NCID(National Clinical Database)施設
- 日本脳卒中学会研修教育施設
- 日本認知症学会教育施設
- 山形県がん診療連携指定病院
- 日本消化器病学会関連施設
- がん病態栄養専門管理栄養士研修実地修練施設
- 日本神経学会専門医制度准教育施設
- 久留米大学認定教育関連診療科
- 母体保護法指定医師研修機関
- 日本産科婦人科学会高度技術専門医修練施設 B
- 日本病院総合診療医学会認定施設
- 日本小児外科学会教育関連施設 B
- 山形大学医学部附属病院連携医療施設
- 日本脊椎骨髄病学会椎間板酵素注入療法実施可能施設
- 日本臨床神経生理学会認定施設
- 一次脳卒中センター(PSC)
- 日本産科婦人科内視鏡学会認定研修施設
- 日本東洋医学会研修施設
- 日本歯科麻酔学会研修機関

●募集について

臨床研修

- 令和6年度研修医募集定員: 6名(予定)
- 令和5年度研修医受入数: 1年次: 3名・2年次: 5名(ほか協力型病院としても受入れ)
- 処遇: 給与: 年間概算支給見込額 1年次: 710万円、2年次: 960万円(基本給(基本手当含む)は、1年次: 432,544円、2年次: 469,272円。他に住居、通勤、時間外、宿日直等の手当あり。)
- 健康保険、厚生年金などあり。医師賠償責任保険は、病院で加入。
- 有給休暇は20日(4月に採用される年は15日)。ほか夏季、年末年始休暇等あり。
- 公舎: 集合住宅形式 40戸、一戸建て1戸。
- 募集及び採用の方法
 - 募集方法: 公募
 - 選考方法: 面接(往復交通費助成)
 - マッチング利用: 有
 - 応募締切: 令和5年8月末日(予定)
 - 試験日: 令和5年7月~9月中旬(予定)

- 学会、研修会
 - 各診療科指導医による救急講義や漢方専門医による漢方講義、外部講師を招いた研修会を院内で開催。
 - 学会、研修会等に参加の際は旅費及び参加費の支給あり。
 - JATEC、ACLSなどの資格取得の受講料も助成。
- その他の勤務環境
 - 論文検索環境として、図書館、UpToDateAnyWhere等あり。
- 周辺のレジャー施設等
 - 日本で初めてユネスコ食文化創造都市ネットワークの「食文化分野」に認定され、味わいの深い飲食店が数多く存在することは、鶴岡の歴史と文化に裏打ちされています。市の中心部には鶴ヶ岡城址の鶴岡公園や藩校致道館、大宝館などの歴史的建造物が立ち並び、少し足を伸ばせばクラゲの展示種類数世界一の『加茂水族館』やあつみ温泉・湯野浜温泉等数々の温泉があります。日本遺産に認定された出羽三山、松ヶ岡開聖場や夕日が美しい日本海など大自然に囲まれた環境です。
- 病院見学
 - 随時受付。ホームページの専用フォームから申込可(往復交通費助成)。

病院長: 鈴木 聡
病床数: 521【一般: 521】
医師数: 75
診療科目: 内、精、神内、呼、消、循、漢、小、外、整形、脳外、呼外、心外、小外、皮、泌、産、婦、眼、耳、歯口、麻、リハ、放、病

●プログラムについて

臨床研修

- 南庄内地域唯一の基幹病院であり、急性期・重症症例を数多く経験できる。
- 救急患者数が年間約20,000人と多く、救急症例を幅広く研修することができる。
- 手術件数も年間約3,500件で、基本的な手術手技また挿管手技を含めた麻酔・救急蘇生の技術を十分に習得できる。
- 内科系はマンツーマン指導で、プライマリ・ケアの修得には十分な症例数がある。
- 1学年定員6名と少人数制で、約11か月の選択科期間に、希望する診療科を十分に研修できるフレキシブルなプログラムである。

●研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1年次	オリエンテーション	内科			救急部門			内科			外科	小児科	救急部門(麻酔科)	選択科
2年次	地域医療			産婦人科	精神科	選択科								

※必修科目の7科(内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急、地域医療)のうち、外科、小児科、産婦人科、精神科の4科はそれぞれ4週研修します。
※一般外来研修は、内科、外科、小児科、地域医療研修期間中に計4週以上研修します。

●医師紹介・メッセージ

●常勤勤務医師紹介(指導医)

担当分野	氏名	役職	指導医 認定資格取得状況	資格等
内科	安宅 謙	内科系診療部長(兼)臨床工学室長(兼)内科主任医長(兼)血液浄化療法センター長(兼)物産管理センター長	○	指導医養成講習会修了
内科	小池 千里	診療部次長(兼)内科主任医長	○	日本内科学会(指導医、総合内科専門医、認定内科医)、日本血液学会(専門医)、指導医養成講習会修了
内科	竹田 文洋	副主任医長	×	
内科	和泉 典子	医長(兼)中央検査科長	○	日本内科学会(指導医、総合内科専門医、認定内科医)、日本緩和医療学会(認定医、研修指導医、緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会受講)、日本がん治療認定機構(指導医)、日本医師会(認定産業医)、指導医養成講習会修了
内科(救急)	菅 秀紀	副主任医長	○	日本DMAT隊員、日本内科学会(認定産業医)、指導医養成講習会修了、臨床研修プログラム責任者養成講習会修了
神経内科	丸谷 宏	診療部主幹(兼)神経内科主任医長	○	日本神経学会(指導医、専門医)、日本脳卒中学会(専門医)、日本内科学会(指導医、総合内科専門医、認定内科医)、日本認知症学会(指導医、専門医)
神経内科	佐藤 和彦	医員	○	日本神経学会(専門医)、日本専門医機構(内科専門医)、日本医師会認定産業医、指導医養成講習会修了
消化器科	古屋 紀彦	診療部主幹(兼)消化器科主任医長(兼)消化器病センター副センター長	○	指導医養成講習会修了
消化器科	宮澤 弘智	医長	○	日本内科学会(認定内科医、総合内科専門医、認定内科医)、日本静脈経腸栄養学会(TNコース修了)、PEG・在宅医療学会(嚥下機能評価研究会修了)、指導医養成講習会修了
消化器科	土田 秀光	医長	×	日本内科学会(認定内科医、総合内科専門医)、JMECC日本内科学会認定内科医、ICLS講習会修了
循環器科	佐藤 匡	統括診療部長(兼)栄養科長(兼)循環器科主任医長	○	日本循環器学会(専門医)、日本内科学会(指導医、総合内科専門医、認定内科医)、日本心臓リハビリテーション学会(心臓リハビリテーション指導士)、日本心血管インターベンション治療学会(認定医)、指導医養成講習会修了
循環器科	石垣 大輔	医長	○	日本循環器学会(専門医)、日本内科学会(認定内科医)、指導医養成講習会修了
循環器科	小林 祐太	医長	×	日本循環器学会(専門医)、日本内科学会(認定内科医)、日本心臓リハビリテーション学会(心臓リハビリテーション指導士)
循環器科	小島 研司	参与	○	日本循環器学会(専門医)、日本内科学会(指導医、認定内科医)、指導医養成講習会修了
小児科	齊藤 なか	診療部主幹(兼)小児科主任医長	○	日本小児科学会(専門医、指導医)、日本小児神経学会(専門医)、日本臨床神経生理学会(指導医、専門医)、日本小児科医学会(指導医、専門医)、日本ICD疫学学会(指導医、専門医)、日本小児科医学会(心臓リハビリテーション指導士)、指導医養成講習会修了
小児科	吉田 宏	主任医長(兼)NICUセンター長	○	日本小児科学会(指導医、専門医)、日本周産期・新生児医学会(周産期新生児専門医指定研修施設認定指導医)、新生児蘇生法専門コースインストラクター1、指導医養成講習会修了
小児科	阿部 祐	医長	○	日本小児科学会(指導医、専門医)、日本小児神経学会(専門医)、日本人類遺伝学会(臨床遺伝専門医)、指導医養成講習会修了
小児科	佐藤 敏一	医長	○	日本小児科学会(指導医、専門医)、日本救急医学会(専門医)、日本DMAT隊員、日本集中治療医学会(専門医)、指導医養成講習会修了、臨床研修プログラム責任者養成講習会修了
小児科	佐藤 聖子	医長	×	日本小児科学会(専門医)
小児科	鎌原 健	医長	○	日本小児科学会(専門医)、日本周産期新生児医学会(専門医)、新生児蘇生法専門コースインストラクター、指導医養成講習会修了
外科	鈴木 聡	院長(兼)看護専門学校長	○	日本外科学会(指導医、専門医)、日本消化器外科学会(指導医、専門医)、日本救急医学会(指導医、専門医)、日本認知症学会(専門医)、日本病院総合診療医学会(認定医)、メデカカレントロール監修医セミナー修了、日本神経内視鏡学会(技術認定医)、山形県医師会(認定かかりつけ医)、指導医養成講習会修了
外科	坂本 薫	診療部主幹(兼)外科主任医長(兼)集中治療センター長	○	日本外科学会(専門医)、日本消化器外科学会(指導医、専門医、認定医)、指導医養成講習会修了
外科	白幡 康弘	診療部主幹(兼)消化器科センター長(兼)外科副主任医長	○	日本外科学会(指導医、専門医)、日本消化器外科学会(指導医、専門医、認定医)、日本静脈経腸栄養学会(指導医、認定医)、高峯医療研究所(消化器科指導医)、日本肝臓学会(肝臓指導医、肝臓専門医)、日本病院総合診療医学会(指導医、認定医)、日本腹部救急医学会(評議員)、日本腎臓学会(指導医)、日本医師会(認定産業医)、日本がん治療認定医機構(がん治療認定医)、指導医養成講習会修了
外科	島田 哲也	医長	○	日本外科学会(専門医)、日本消化器外科学会(専門医、認定医)、指導医養成講習会修了
外科	太田 依子	医長	○	日本外科学会(専門医)、日本消化器外科学会(専門医、認定医)、日本肝臓学会(肝臓専門医)、日本病院総合診療医学会(認定病病総合診療医)、指導医養成講習会修了
整形外科	後藤 真一	診療部主幹(兼)整形外科主任医長	○	日本整形外科学会(専門医)、日本手外科学会(指導医、専門医)、指導医養成講習会修了
整形外科	土屋 潤平	リハビリテーション科長(兼)前主任医長	○	日本整形外科学会(専門医)、日本手外科学会(専門医)、日本フットケア・足病医学会(下肢創傷処置・管理のための講習会修了)、指導医養成講習会修了
整形外科	岡田 宗一郎	医長	○	日本整形外科学会(専門医)、日本人工関節学会(認定医)、指導医養成講習会修了
整形外科	福原 宗	医長	○	日本整形外科学会(専門医)、指導医養成講習会修了
整形外科	瀧 田 義祐	医長	×	日本整形外科学会(専門医)
脳神経外科	佐藤 和彦	副院長(兼)脳神経外科主任医長(兼)救急センター長	○	日本脳神経外科学会(専門医)、日本脳卒中学会(専門医)、日本脳神経血管内治療学会(専門医)、日本認知症学会(専門医)、日本病院総合診療医学会(認定医)、メデカカレントロール監修医セミナー修了、日本神経内視鏡学会(技術認定医)、山形県医師会(認定かかりつけ医)、指導医養成講習会修了
小児外科	八木 実	病院長兼管理者	×	日本小児科学会(指導医、専門医)、日本小児外科学会(指導医、専門医)、日本静脈経腸栄養学会(指導医、認定医)、日本消化器学会(指導医、専門医、認定医)、メデカカレントロール監修医セミナー修了、日本神経内視鏡学会(技術認定医)、日本東洋医学会(漢方専門医)、日本東洋医学会(指導医)、日本消化器外科学会(認定医)
小児外科	大滝 雅博	外科系診療部長(兼)小児外科主任医長(兼)医療安全管理部長	○	日本小児外科学会(指導医、専門医)、日本外科学会(指導医、専門医)、日本病院医(医療安全管理者)、日本嚥下医学会(嚥下機能評価研修会修了)、指導医養成講習会修了

●問い合わせ先

鶴岡市立荘内病院 総務課経営企画係
tel.0235-26-5111(内線6327) fax.0235-26-5110
E-mail: rinken@shonai-hos.jp

担当分野	氏名	役職	指導医 認定資格取得状況	資格等
小児外科	阿部 尚弘	医長	○	日本外科学会(専門医)、指導医養成講習会修了
泌尿器科	阿部 寛	主任医長	○	日本泌尿器科学会(指導医、専門医)、指導医養成講習会修了
泌尿器科	藤田 英	医長	○	日本泌尿器科学会(専門医)、日本救急医学会(認定ICLSコースディレクター)、アメリカ心臓協会(認定インストラクター・ACLSコースディレクター)、医師少教区域研修施設医、日本アソシート協会強化プログラム(Ra-223)注釈定を用いた内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会修了、SpaceOARシステムトレーニング修了、Rezumシステムトレーニング修了、指導医養成講習会修了
産科	五十嵐 裕一	副院長(兼)診療部地域医療連携室長(兼)産科医長(兼)婦人科医長	○	日本産科婦人科学会(指導医、専門医)、周産期専門医制度(母体・胎児専門医指導医)、山形県医師会(母体保護法認定医)、新生児蘇生法専門コースインストラクター、日本緩和医療学会(緩和ケアの基本教育に関する指導者研修会修了)、指導医養成講習会修了
婦人科	高柳 健史	診療部主幹(兼)婦人科主任医長(兼)産科医長	×	日本産科婦人科学会(指導医、専門医)、山形県医師会(母体保護法認定医)
産科	矢野 亮	主任医長(兼)婦人科医長	○	日本産科婦人科学会(指導医、専門医)、日本婦人科腫瘍学会(専門医)、日本産科婦人科内視鏡学会(「廣野鏡」技術認定医)、日本周産期・新生児医学会(新生児蘇生法「専門」コース(Aコース)修了)、ALSOPRO/イボイコース修了、がんのハビリエーション研修修了、指導医養成講習会修了
眼科	小林 達彦	医長	×	日本眼科学会(専門医)
麻酔科	栗原 一貴	主任医長(兼)手術センター長	○	日本麻酔科学会(専門医、認定医)、厚生労働省(麻酔科標榜医)、日本心臓血管外科麻酔学会(日本術期経路先進エコー認定)、指導医養成講習会修了
麻酔科	岸 正人	医員	×	日本麻酔科学会(指導医)、厚生労働省(麻酔科標榜医)
放射線科	斉藤 聖宏	診療部主幹(兼)放射線科科長(兼)放射線科主任医長	○	日本放射線学会(放射線診断専門医、研修指導医)、肺がんCT検診認定医師、指導医養成講習会修了
放射線科	長畑 仁子	医長	×	日本放射線学会(放射線診断専門医、研修指導医)、検診マンモグラフィ認定医
病理科	内ヶ崎 新也	病理科長(兼)病理科主任医長	×	病理学専門医(日本病理学会)
病理科	橋谷 みさお	医長	×	

●指導医・研修医からのメッセージ

◎プログラム責任者: 小児科医長 佐藤 敏一

当院は庄内二次医療圏南部に位置し、災害拠点病院、地域周産期母子医療センターの指定を受けた基幹病院です。

現在まで、東北地方のみならず関西・九州・沖縄地方の大学など全国から研修医を受入れ、その後全国に羽ばたいてもらっています。

初期研修医の皆さんには2年間で基幹病院の救急外来を守る主役になってもらえるよう、1年目ではBLSやACLSなどの教育コースを病院負担で受講してもらい、2年目からは1年目の指導はもちろんのこと主体的に重症患者を診療しても構いません。さらに2年目には京都府や沖縄県などの協力型臨床研修病院での短期研修も可能(令和6年度プログラムより追加予定)で、全国の研修医の先生方と一緒に働いて刺激を受けることができます。

将来、何科に進んだとしても、どこで働いたとしても当院の救急外来で養ったマネジメント力や度胸は必ず活かされると思います。

廊下ですれ違うコメディカルが皆気持ちよく挨拶を交わす、そんな病院で医師としての第一歩を踏み出しませんか。やる気次第で広がる可能性は無限大、可能性を広げてください。

◎2年次研修医

当院の研修では、救急症例を多く積める点が大きな特徴です。年間の救急車搬入台数は3000台以上に対して常勤医師数が少ないため、必然的に研修医がファーストタッチして活躍できる場面が多いです。そのため研修期間中でメジャーな疾患・症例はほぼ全て経験することができます。

興味がある方は救急診療で役立つBLS、ACLS、JATECなどの講習を受講することも可能です。受講の際は参加費・交通費を支給して貰えるのも嬉しいポイント。

築浅の医師会館(1Kは無料)には消雪付駐車場(無料)、オートロック、宅配BOX、床暖房、IHコンロ、広々とした湯船などが付いており、とても快適に過ごすことができます。また東京へのアクセスも良好で、近くにある庄内空港から1時間程度で羽田空港へ行けます。そのため週末に東京へ刺激を求めて遊びに行くことも可能です。見学の際は交通費と宿泊費の補助が出るので、興味のある方はぜひ一度見学に来てみてください。